

2023年度版

研究シーズ集

SEEDS FOR RESEARCH & INNOVATION



芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism

地域リサーチ&イノベーションセンター
R I C (Research & Innovation Center)



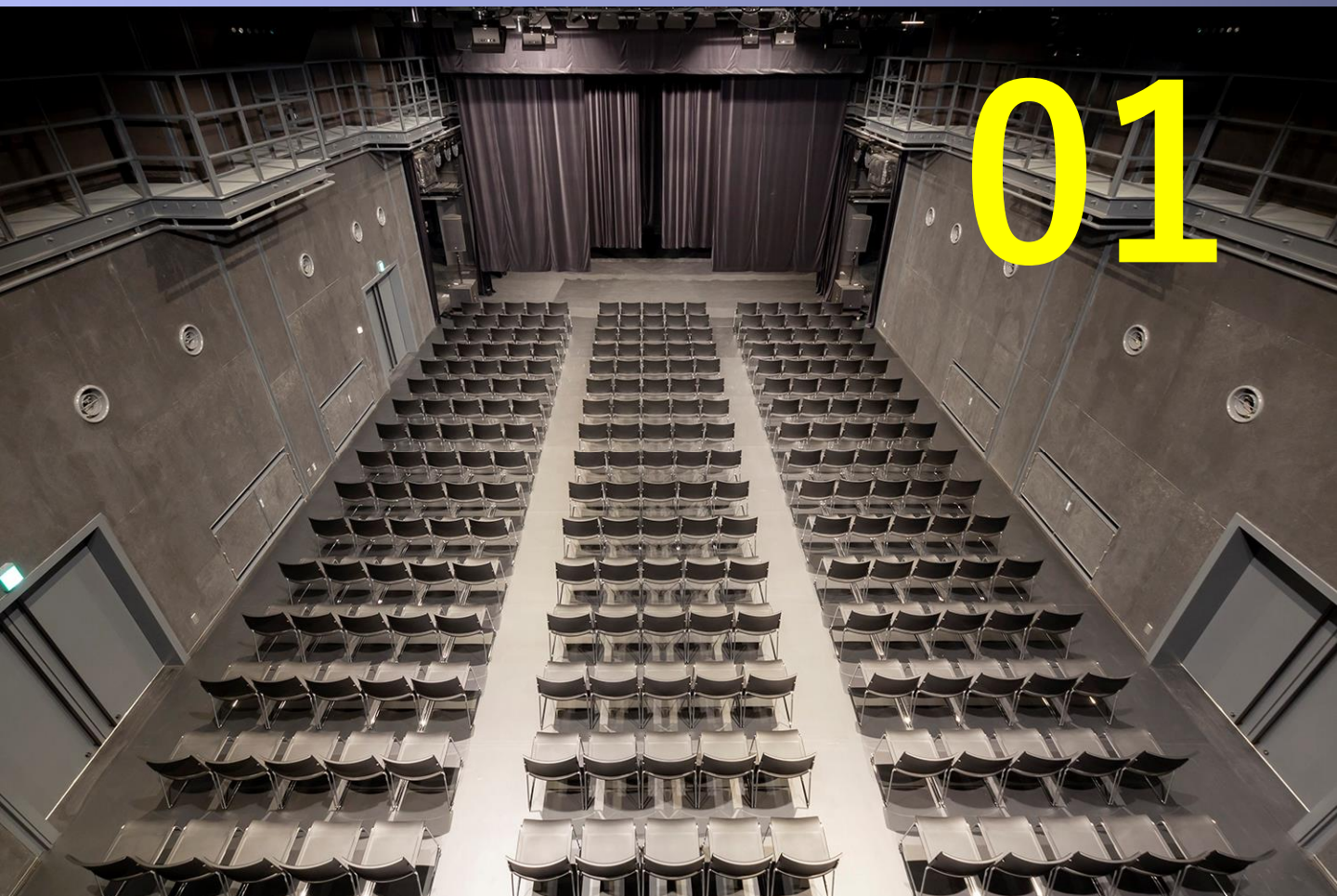
地域リサーチ&イノベーションセンター長 川目 俊哉

本学教員の研究分野をご紹介する2023年度版の研究シーズ集を地域リサーチ&イノベーションセンター（略称RIC）より発刊いたします。ぜひ教員の研究情報をご覧いただき、現在抱えていらっしゃる問題、課題の解決について、大学との協働をご検討いただけますと幸いです。

昨年2022年度は、課題解決のプロジェクトである「RICプロジェクト」を30事業組織化し、地域のさまざまなお立場の方々と課題解決に取り組みました。学生がプロジェクトに参加する「ステューデントアシスタント制度」（略称SA制度）も多くのプロジェクトで採用され、学生ならではの視点での提案等もご評価をいただくとともに、学生自身にとりましても実践の中からさまざまな知恵を身につける貴重な学びとさせていただきました。あらためてお礼を申し上げます。

プロジェクトの扱う範囲も、大学名から想像される芸術文化や観光だけでなく、例えば多文化共生、介護、農業といった分野にも柔軟にアプローチできたことも、昨年度の重要な成果の一つです。今後も、問題、課題に従来とは異なる柔軟な視点で対応することで、新たな価値を生み出すことにも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

RICには但馬の各市町に精通した職員が配置されています。まだどうすればいいのかイメージもよくわからないという段階でも問題はありません。どうぞお気軽にご相談くださいますようお願い申し上げます。



01

舞台芸術

平田	オリザ	-----	04
杉山	至	-----	05
木田	真理子	-----	06
児玉	北斗	-----	07
平田	知之	-----	08
石井	路子	-----	09
山内	健司	-----	10
河村	竜也	-----	11
田上	豊	-----	12

学長 HIRATA ORIZA
平田 オリザ



■キーワード 日本の劇作家、演出家、現代口語演劇理論の提唱者

劇作家、演出家、劇団「青年団」主宰、こまばアゴラ劇場芸術総監督、他
江原河畔劇場芸術総監督、戯曲の代表作に『東京ノート』、小説『幕が上がる』

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化と観光、演劇入門
- ・RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS、豊岡市ジュニアプレカレッジ

・専門領域（2022年度実績抜粋）

* 著作(2022発刊)

- ・『ともに生きるための演劇』NHK出版（7月25日発刊）
- ・『名著入門 日本近代文学50選』朝日新聞出版（12月13日発刊）

* 作品上演等（下記ほか9件）

- ・InlanDimensions International Arts 招聘公演『ソウル市民』作・演出（10/1-2 ポーランド）
- ・青年団第96回公演『日本文学盛衰史』作・演出（12/8 北海道大空町、12/11 幕別町百年記念ホール、12/13 富良野演劇工場、12/15 江別えぼあホール、12/18 盛岡劇場、1/13-30 吉祥寺シアター、2/2-6 伊丹市立演劇ホール）

* 講演、配信、学会発表等（下記ほか47件）

- ・吹田市メイシアター基調講演・シンポジウム出演（6月19日 吹田市メイシアター）
- ・ソウル芸術大学特別講演演（4/13 オンライン）
- ・文藝春秋100周年カンファレンス基調講演（9月27日 文藝春秋西館ホール）
- ・全国市町村国際文化研修所セミナー講演（10月27日 滋賀県大津市）

* ワークショップ・講義等（下記ほか22件）

- ・演劇を活用したワークショップ研修会講座（4/9 目黒区田道住区会議室）
- ・兵庫県内高校ワークショップ授業（宝塚高校、八鹿高校、六甲学院高校）
- ・ピッコロ演劇学校講座（5月22日 兵庫県尼崎市ピッコロシアター）
- ・兵庫県観光事業者向けセミナー講演（6/29 神戸クラウンプラザホテル）
- ・小豆島中学校ワークショップ授業（7/14-15 香川県小豆島町）

* 兵庫県豊岡市内実施

- ・豊岡市「劇の学校」中高生対象ワークショップ（7月18日 豊岡市民プラザ）
- ・たじま児童劇団募集説明会ワークショップ（7/24 江原河畔劇場）
- ・たじま児童劇団指導（11/13,12/4,26-30,1/4-6 江原河畔劇場）
- ・更生保護女性会但馬ブロック研修会（9/12 豊岡地区コミュニティセンター）
- ・豊岡小学校ワークショップ授業（10月21日）
- ・豊岡市職員研修ワークショップ（11月8日 豊岡市役所）
- ・豊岡中学校ワークショップ授業（1月26日）

* 小学校コミュニケーション教育ワークショップ授業

- ・大阪府枚方市（5～6月,10月,2月 楠葉西小学校ほか7校）
- ・福岡県大牟田市（11/12,2/10 羽山台小学校）

■アピールポイント

『東京ノート』第39回岸田國土戯曲賞受賞
『月の岬』で読売演劇大賞優秀演出家賞
『上野動物園再々々襲撃』読売演劇優秀作品賞
『その河をこえて、五月』で朝日舞台芸術賞グランプリ
『演劇1』『演劇2』が釜山国際映画祭でワールド・プレミア
『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞 他 受賞多数



ソウル芸術大学提携記念
平田学長特別講演



豊岡市「劇の学校」中高生対象演劇ワークショップ（提供：NPO法人ブラッツ）



リモージュ演劇学校公演
『カガクするココロ』稽古



大学授業風景

SUGIYAMA ITARU

准教授 杉山 至



■ キーワード 舞台芸術、舞台美術、セノグラフィー
セノグラフィーを活用したワークショップやパフォーマンスの開催、文化資源や地域伝承等を生かした芸術の視点からの地域活性化、コミュニケーション・デザインによる地域のリブランディング

■ 教育研究

- ・担当科目： コミュニケーション演習、舞台芸術実習A~D、舞台芸術基礎実習、舞台芸術入門、空間デザイン入門、舞台美術論、劇場文化と舞台技術
- ・学内委嘱委員： 劇場運営委員会、キャリアサポートセンター

・専門領域

- 1.国内外での舞台芸術作品におけるセノグラフィー（舞台美術）デザイン。
- 2.セノグラフィー（舞台美術とランドスケープの複合）ワークショップの開催と文化資源を活用したパフォーマンスやイベント等のデザインプランニング。
- 3.地域に残存する舞台芸術に関わる文化的文脈を持つ事柄のリサーチと作品づくり。



劇団あはひ「光冠」2022豊岡演劇祭

豊岡演劇祭
「但東さいさい」
デザイン幕



名草神社
修復記念イベント
「NAGSAI」



Ybfab野外アート展 出展作品

■ 地域貢献・社会貢献

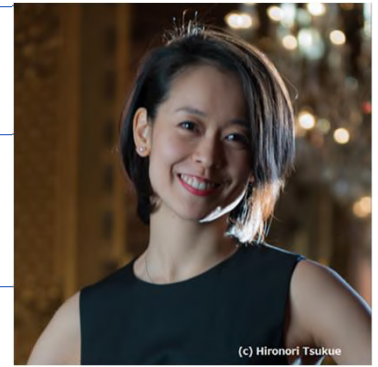
RIC PROJECT： 夢ホール運営等研修および人材育成事業（新温泉町）、朝来の森美術館キャンドルイベント事業、養父市名草神社修復記念イベントの空間デザイン、Ybfab野外アート展出展。
第30回読売演劇大賞 優秀スタッフ賞受賞 受賞作/劇団あはひ「光冠」俳優座「猫、獅子になる」、モチロンプロデュース「阿修羅の如く」

■ アピールポイント

2022年度地域との交流行事での実績

- ・豊岡演劇祭参加作品「但東さいさい」での美術ワークショップ開催とデザイン。
- ・新温泉町の文化資源の活用。
- ・名草神社のイベント舞台のデザインコーディネート。
- ・YBfab野外アート展、民話を題材としたワークショップとアート作品の作成・展示。
- ・セノグラフィーや舞台芸術が得意とするコミュニケーション・デザインの手法で地域の問題等をリサーチし、解決する方法を探る、等。

准教授 KIDA MARIKO
木田 真理子 m_kida@stdat.at-hyogo.ac.jp



(c) Hironori Tsukue

キーワード：

身体感覚、コミュニケーション、ダンス、空間と身体の相互作用
情動、記憶、荒川修作+マドリン・ギンズ

学内業務： 芸術文化専攻長、教務委員、安全衛生委員

担当科目：

身体コミュニケーション実習、ダンスワークショップ実習A、ダンスワークショップ実習C、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習A、舞台芸術実習B、舞台芸術実習C、舞台芸術実習D、演技論、専門演習、総合演習



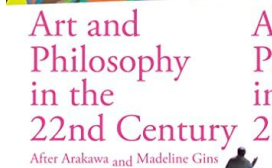
共著：

- ・『22世紀の荒川修作+マドリン・ギンズ』フィルムアート社, 2019
- ・『Art and Philosophy in the 22nd Century: After Arakawa and Madeline Gins』ratik, 2023



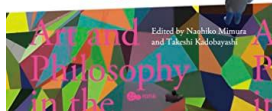
共同研究・競争的資金等の研究課題：

- ・日本学術振興会 科研費（基盤研究C）代表「せめぎ合いから立ち上がる身体の人類学研究ーダンス作品の創作現場から」2023年4月～2027年3月
- ・関西大学研究拠点形成 分担「空間と身体感覚の相互作用にもとづく空間デザインの研究 --荒川修作+マドリン・ギンズ「手続き型建築」の形態を探る」2023年4月～2025年3月

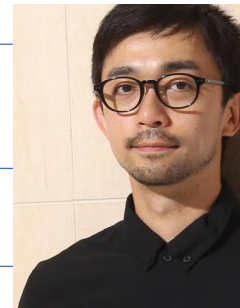


地域貢献・社会貢献

- ・2019年～2022年 中高生のための「劇場の学校」プロジェクト舞踊コース講師（公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団/ ロームシアター京都）
- ・2020年 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（Save the Children Japan）「日本/子どもの虐待防止」メッセージ発信
- ・2021年「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりシンポジウム」パネリスト（大阪府箕面市、大阪大学外国語学部、箕面市メイプル文化財団、箕面市国際交流協会）
- ・2021年アートについて考えるドキュメンタリー映画「アートなんかいらない！」（山岡信貴監督、リタピクチャル）インタビュー出演
- ・2023年「パフォーマンスキッズ・トーキョー」プロジェクト、『○これなんだ』空間演出アドバイザー（特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人 東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人 新宿未来創造財団）



講師 KODAMA HOKUTO
児玉 北斗



■キーワード 振付（コレオグラフィー）、舞踊美学、パフォーマンス研究
 ワークショップを通じたダンス作品の創作

■教育研究

- ・担当科目：パフォーマンス概論、身体コミュニケーション実習、ダンスワークショップ実習、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習、身体表現論、舞台芸術論
- ・本学委嘱委員：教務委員会、エクステンションセンター

・専門領域

ダンス作品を「振付」という観点から実践的／理論的に考察することを専門とし、振付家として『Pure Core』(2020年)、『Wound and Ground』(2022年)などのコンテンポラリーダンス作品を発表している他、舞踊美学の領域で「ダンス作品の存在論」を対象に研究者としても活動している。

2021、2022年度 穂の国とよはし芸術劇場P L A T「ダンス・レジデンス」滞在アーティスト

2021、2022年度 Dance Box「国内ダンス留学@神戸」講師（西洋舞踊史）

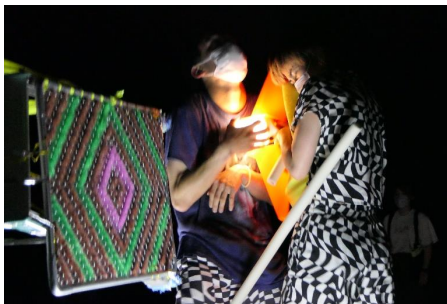
2022年度 愛媛大学文学部 非常勤講師（芸術学特講）

京都芸術大学舞台芸術センター・共同研究プロジェクト「What is able-bodied?—身体表現における“健常”な体についての考察を通じたダンスの協働制作（研究代表者：田中みゆき）」研究メンバー

同「老いをめぐるダンスドラマトルギー（研究代表者：中島奈那子）」研究メンバー

論文「2000年以降のダンス研究におけるネルソン・グッドマンのノーテーション理論——争点としてのオートグラフィック／アログラフィック——」『第71回美学会全国大会 若手研究者フォーラム発表報告集』美学会、2021年。

・研究の実際



『Wound and Ground』(2022)Photo: Hanabi Takemiya



『Pure Core』(2020) Photo: Kim Sajik

■アピールポイント

2001年より、アルバータバレエ、レ・グランバレエ・カナディアン、ヨーテポリオペラ・ダンスカンパニー、スウェーデン王立バレエなどで国際的に活動。マッツ・エック、アレクサンダー・エックマン、ヴィム・ヴァンデケープスなど世界的な振付家の創作にて主要な役を務めた。JAPON dance projectメンバーとして2014年と2016年の新国立劇場主催公演にて振付・出演、また2017年にトーキョーワンダーサイト本郷で自身初のソロ公演『Trace(s)』、2020年12月にはTHEATRE E9 KYOTOにて『Pure Core』を発表するなど、主体・身体・権力の連関について、ダンサーとしての当事者的な問題意識を基盤とした作品を制作している。2018年、ストックホルム芸術大学修了（MFA in Choreography）。

HIRATA TOMOYUKI

講師 平田 知之

tomo3@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード コミュニケーション教育 ファシリテーション
演劇的手法 学力向上 国語教育 協働学習 職員研修

■ 教育研究

担当科目：知と表現のデザイン（アカデミックライティング）、演劇ワークショップ演習、
演劇教育入門、演劇教育論

本学委嘱委員：広報委員 入試委員

■ 専門領域

わが国の演劇的手法を活用した研修・学習活動の歴史的展開が専門です。
戦後から現在に至る、学校教育・社会教育での文化的活動史・学習史に関心があります。
「演劇的手法を用いたコミュニケーション教育の地域全体への展開と中期的効果検証」
（博報堂 児童教育実践についての研究助成 2022～2024）

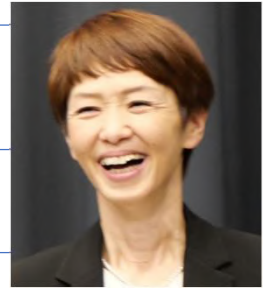
■ 地域貢献・社会貢献

高校コミュニケーションワークショップ コーディネーター、ファシリテーター（2021～）
豊岡市中学校教育研究会支援事業 指導助言者（2023～）
八鹿看護専門学校 非常勤講師（「人間関係論」）（2022～）
兵庫県立高等学校 学校設定科目「演劇表現」外部講師（2023～）
兵庫県介護支援専門員協会但馬 豊岡ブロック 研修講師（2022）
兵庫県立高等学校 特色ある教育推進事業 講演（2022）
養父市中学校 先生と協働した文学作品を素材とする国語科の深い学びづくり（2021～）
兵庫県立高等学校 学力向上事業 指導助言者（2021～）
兵庫県立高等学校 学校評議員（2021～）
兵庫県立大学附属中学校 学校設定科目「コミュニケーション」外部講師（2021～）
文部科学省 コミュニケーション教育会議 ワーキンググループ委員（2010）
筑波大学教員免許状更新講習「演劇の専門家とつくる教室」講師（2010～2020）
文部科学省 ワorkshopリーダー人材育成事業 コーディネーター（2011, 2014）

■ アピールポイント

一人で頭で考えるだけでなく、まず人と一緒に身体を動かしてみることで、人間関係を円滑にし、創造的に問題解決を図り、想定外の状況でも諦めずに取り組みを継続できる人を育て、よりよい組織づくりの役に立つことを目指しています。

講師 ISHII MICHIKO
石井 路子



- キーワード 演劇教育、表現教育、コミュニティダンス
教員への表現教育ワークショップ、高等学校への表現ワークショップ（実習）

■ 教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化・観光プロジェクト実習、演劇ワークショップ実習、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習、演劇教育入門、演劇教育論
- ・本学の委嘱委員：学生生活委員会委員、R&Iセンター委員
- ・RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS、「鉱石の道」活用促進プロジェクト

専門領域

- ・学校教育における表現教育の実践・カリキュラム研究
- ・表現教育科目履修生の実習として、但馬地域高等学校への表現ワークショップ授業の実施
- ・身体表現・ボディワーク、セルフ・ナラティブ作品創作、高校演劇作品創作
- ・コミュニティダンス：但馬地域フラッシュモブ企画



高校生が生きやすくなるための演劇教育
2017/5 いしいみちこ(著)



追手門学院高校表現コミュニケーションコース



但馬地域フラッシュモブ企画 但馬空港促進事業



高校1年生2月 自画像公演



高校3年生10月 WSデザイン実習

■ アピールポイント

高校教諭として約20年ほど表現教育を実践してまいりました。目的は、所属コミュニティにおいて人と人をつなぐことのできる人材を育てること。芸術文化は娯楽をイメージされることが多いですが、芸術文化、表現は、本来人間にとってなくてはならないもの。芸術文化の力を知り、地域や社会のためにその力を駆使できる人を育ててまいります。互いに影響し合っている心と身体の関係について知ることは、自分自身と向き合うことです。そして、身体を通して他者を想像することが、他者や人間を理解することにつながります。自身を考えていく機会を提供してまいりたいと考えています。

YAMAUCHI KENJI

講師 山内 健司 k-yamauchi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 俳優、演技、他者理解

■ 教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、演劇ワークショップ実習A・C、演技論、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習A・B・C・D
- ・本学委嘱委員：劇場運営委員会、紀要委員会

■ 専門領域

1. 「演技の先端を伸ばす」

俳優として上演において演技を実践する。リアリズムからコンテンポラリーな作品、国際共同制作まで、幅広い舞台・映像作品における演技。街や人と直接関わる劇場の外での上演作品における演技。表現の先端を伸ばす。

2. 「豊かさを誰でも味わえるようにする」

私たちが話してる姿そのものが本来豊かである。その豊かさを演技の視点から発見し『体験』するワークショップやプロジェクトなどの『場作り』に取り組む。

3. 「演技の言葉を整理する」

すべての人にとって演技は近いものであるがために、演技を語る言葉はカオスである。演技をめぐる言葉の歴史的な混乱の解消を目指し、専門的な知へのアクセスをよくする。



高校コミュニケーションWS



平成二十二年度文化庁文化交流使として全編仏語一人芝居『舌切り雀』をヨーロッパ各地の小学校で単身上演

■ 地域貢献・社会貢献

- ・RIC事業：但馬地域の全高校にて、コミュニケーション・ワークショップを実施。
- ・国内各地で「しゃべり言葉を調べるワークショップ」「聞き演じワークショップ」の実施。
- ・一人芝居上演などで演劇作品を身近に。

■ アピールポイント

どなたでも体験できる「しゃべり言葉を調べるワークショップ」「聞き演じワークショップ」を実施しています。コミュニケーションには、多様性が担保された「心理的に安全な」関係が前提として必要です。その核心部となる「他者へのリスペクト、自分自身へのリスペクト」を俳優の演技の視点から獲得していくプログラムです。そして、話す言葉を通じて、私たちの身体に蓄積された地域の文化や時間を発見します。

KAWAMURA TATSUYA

助教 河村 竜也 t_kawamura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 舞台芸術, フェスティバル, プロデュース, アートマネジメント, 豊岡演劇祭, 国際共同制作, 劇場文化, 俳優

■ 教育研究

- ・担当科目: コミュニケーション演習、芸術文化・観光プロジェクト実習 1～4、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習A～D、舞台芸術入門、劇場文化と舞台技術
- ・本学委嘱委員: 実習支援センター委員、広報委員会委員、劇場運営員会委員

・研究事例

◆ 舞台

- ・【出演】「東京ノート」: 青年団、作・演出: 平田オリザ
- ・【出演】「日本文学盛衰史」: 青年団、作・演出: 平田オリザ
- ・【出演】「砂と兵隊」: 青年団国際交流プロジェクト (日仏)、作・演出: 平田オリザ
- ・【出演】「MONTAGNE/山」: 日仏共同制作 作・演出: トマ・キヤルデ
- ・【出演・プロデュース】「珈琲法要」: ホエイ、TGR札幌劇場祭大賞受賞
- ・【出演・プロデュース】「郷愁の丘ロマンピア」: ホエイ、第63回岸田國土戯曲賞最終候補 他多数

◆ 映画

- ・【出演】「歓待」、「東京人間喜劇」、「SHARING」



「珈琲法要」 ©Nagare Tanaka

舞台【出演・プロデュース】ホエイ「珈琲法要」

舞台【出演・プロデュース】ホエイ「郷愁の丘ロマンピア」



©igaki photo studio

舞台【出演】「MONTAGNE/山」: 日仏共同制作



「ジェファソンの東」

映画「歓待」出演 深田晃司監督

映画「ジェファソンの東」出演 深田晃司監督



豊岡演劇祭 プロデュース

■ 地域貢献・社会貢献

豊岡演劇祭のプロデュース、KDDIとの高精度GNSS測位による音声ARを活用した音声ARオーディオガイド造成事業、新規就農希望者に訴求するブランディングムービー作成業務、JR西日本観光列車「うみやまむすび」演劇列車を活用した文化観光コンテンツの造成事業、JICA発展途上国向け訪日研修における協力事業

■ アピールポイント

豊岡演劇祭のプロデュース業務、舞台芸術作品の制作（国際共同制作含む）業務の実績

TANOUE YUTAKA
 助教 **田上 豊** y-tanoue@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード **演劇ワークショップ 地域連携事業 クリエイション 演劇教育**

■ 教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化と観光、演劇ワークショップ実習、舞台芸術実習、芸術文化・観光プロジェクト実習、舞台芸術基礎実習
- ・研究
 1. **演劇ワークショップ**：プログラム開発、ファシリテーター育成、ニーズ調査、研究会の創出
 - (1) **プログラム開発**：教育現場における実演家の実施する表現ワークショップ、観光学と連携したワークショップのプログラムの検証と構築
 - (2) **ファシリテーター育成**：ワークショップ実施時の進行術の検証と研鑽
 - (3) **ニーズ調査**：但馬地区における表現ワークショップのニーズと諸問題の調査
 - (4) **研究会の創出**：観光分野との架橋プログラムの開発、地域民間企業との持続可能な演劇ワークショッププログラムの開発、学生との共同研究のための「場」の開発
 2. **地域連携事業の開拓**：表現活動、地域資源の活用と地域との協働、企業・産業とのマッチング
 - (1) **表現活動**：多角的な目的に即した表現活動（ワークショップやクリエイションを起点とした）の場と機会の創出
 - (2) **地域産業とのマッチング**：地域の産業との共同ワークショッププログラムの開発

■ 地域貢献・社会貢献

・ **RIC プロジェクト**：高大連携WS、芸術鑑賞会用演劇作品開発、養父市名草神社保存修理工事完成記念イベント事業、特別支援学校WS、小規模特任校、若手職員研修、等

事例1 高大連携コミュニケーションワークショップ



事例2 養父市名草神社事業（創作事例）

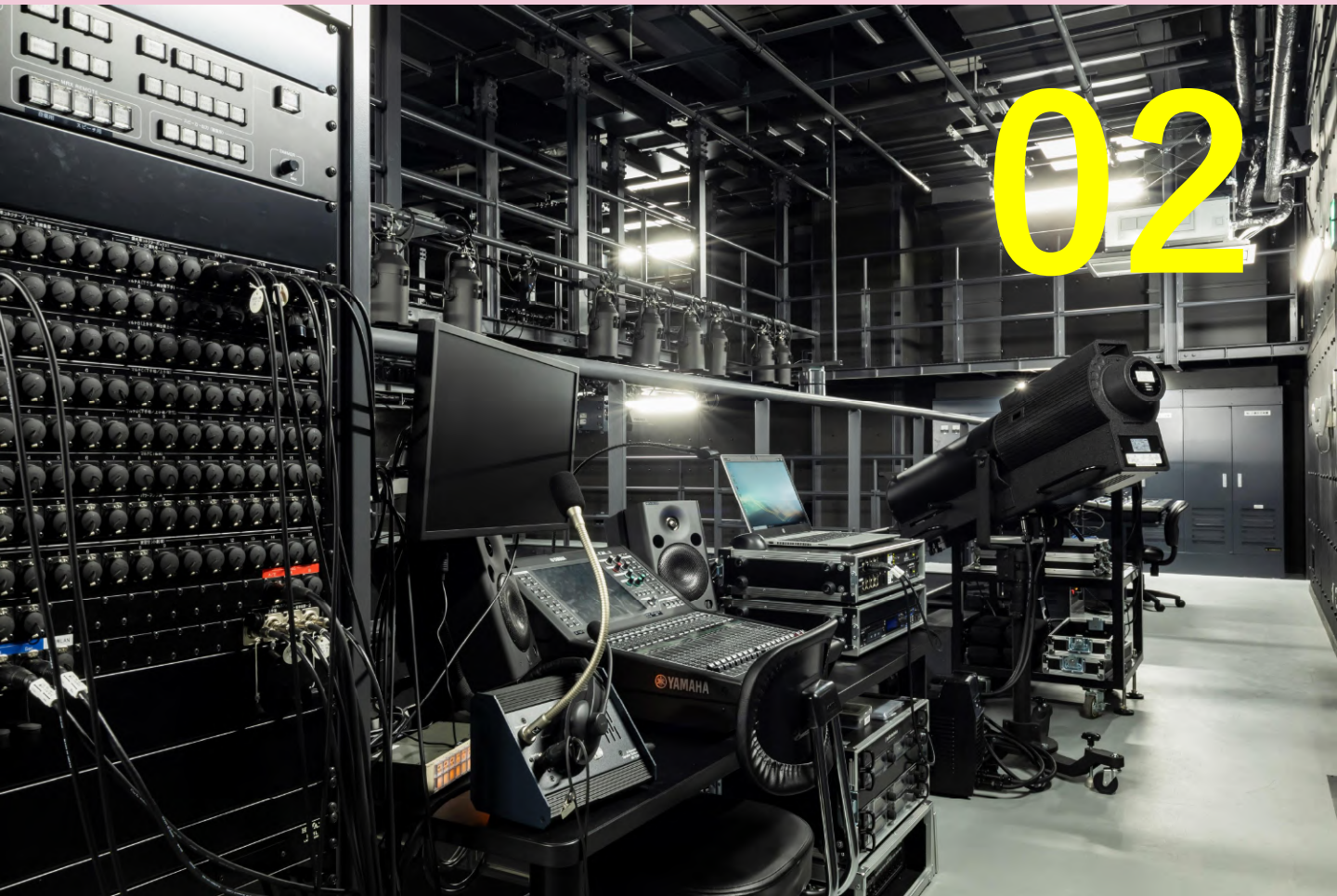


事例3 青山学院大学社会情報学部・苺宿研究室による田上豊のワークショップレポート
<https://kariyado-lab.si.aoyama.ac.jp/post/184452950164>

事例4 ならのまちとつくる演劇 インタビュー
<https://kotohogunara.jp/theater/3504>

■ アピールポイント

一般財団法人地域創造リージョナルシアターシリーズ派遣アーティスト、奈良市アートプロジェクト〈古都祝奈良〉舞台芸術部門ディレクター、2019～2021・富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督（一期三年）他



アートマネジメント

藤野	一夫	-----	14
熊倉	敬聡	-----	15
古賀	弥生	-----	16
尾西	教彰	-----	17
李	知映	-----	18
近藤	のぞみ	-----	19
小林	瑠音	-----	20
井原	麗奈	-----	21

FUJINO KAZUO
 教授 藤野 一夫



02

■ キーワード 文化政策、アートマネジメント、音楽文化論

条例・基本計画・ビジョン・アクションプランの策定とその評価、指定管理者の選定、仕様書作成、管理運営に対する評価等、劇場・音楽堂等の外部評価、文化振興財団の事業評価、公共文化施設の基本計画策定、自治体文化審議委員会の委員、神戸大学名誉教授、ベルリン自由大学などドイツの多数の大学でフェローや客員教授を歴任

■ 教育研究

- ・担当科目：芸術文化と観光、アートマネジメント概論、パフォーミングアーツ概論、文化政策概論、芸術学、海外実習、劇場プロデュース実習、音楽文化論総合演習
- ・研究：著作「みんなの文化政策講義 文化的コモンズをつくるために」単著 水曜社 2022/03
 「市民がつくる社会文化 新刊ドイツの理念・運動・政策」共著 水曜社 2021/06
 「基礎自治体の文化政策 まちにアートが必要なけ」単著 水曜社 2020/02
 「地域主権の国ドイツの文化政策」共編 著美学出版 2017/09
 「公共文化施設の公共性 運営・連携・哲学」単著 水曜社 2011/04 他
- ・研究事例

本学素案策定から関わっておりますので、全般的に対応可能。文化政策領域は、ほぼ全ての支援事業に関与経験あり。文化振興条例、基本計画、ヴィジョン、アクションプランの策定とその評価、改善提案など。また、指定管理者の選定の仕様書、評価書の策定、実際の選定、および指定管理者の管理運営、事業評価など。さらに、劇場・音楽堂等の外部評価、文化振興財団の事業評価などを実施。公共文化施設の基本計画策定、自治体文化審議会の委員（座長）などを歴任。文化振興財団、アートNPOの役員も多数兼任。



図 開学記念フォーラムでの講演 2022.5

- (1)文化振興条例、基本計画等の策定・共同研究
 神戸市（文化創生都市宣言、同プログラム、ビジョン、新文化ホール基本計画）、明石市（条例、基本計画、審議会）、芦屋市（条例、基本計画、審議会）、豊中市（条例、基本計画、審議会）、大阪府市（条例、基本計画、審議会）、豊岡市（基本計画、新文化会館基本計画）、吹田市（条例、基本計画、審議会）、東大阪市（条例、基本計画、審議会）、丹波市（基本計画、審議会）、八尾市（条例制定検討中、基本計画、審議会）、横浜市（新たな劇場基本計画）
- (2)新型コロナウイルスの影響下における兵庫県内の芸術文化活動に関する調査研究
- (3)アートマネジメントに関する研究等
 文化・芸術を生かしたまちづくり研究会、アートマネジメントの広場



みんなの文化政策講義 文化的コモンズをつくるために

■ アピールポイント

・日本文化政策学会会長、文化経済学会<日本>理事、(公財)びわ湖芸術文化財団理事、(公財)神戸市民文化振興財団理事、(公財)尼崎市文化振興財団理事、(公財)明石文化芸術創生財団評議員、日本ワグナー協会理事、豊中市文化芸術振興審議会副委員長、堺市文化芸術審議会副会長、吹田市文化審議会委員長、八尾市芸術文化振興審議会会長、東大阪市文化芸術審議会委員、徳島文化芸術ホール管理運営検討委員会委員長、(独法)日本芸術文化振興基金専門委員、日本万博基金国際交流部門委員長、京丹後市文化芸術基本計画策定委員会アドバイザー、その他自治体委員、NPO法人の理事など多数。

教授 KUMAKURA TAKAAKI
熊倉 敬聡 kumakura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 芸術学、文化実践、藝道/GEIDO研究
芸術と社会、理論と実践のインターアクション

■ 教育研究

・担当科目：美学・芸術学（1年）、批評論・美学美術史（2年）、
舞台芸術論・現代アート論・専門演習（3年予定）、
総合演習（4年予定）

・研究：著作 …「GEIDO論」(図1)
「言語の中動態、思考の中動態」（共著）等

・学術情報センター長
学術情報館・情報システムの運営・管理、「パフォーミング・ライブラリー」企画の
実施

・専門領域

1. 現代・近未来の創造性の研究と実践

・近代の資本主義とアートの彼方に、人類の創造性が改めて古来の文化の知
恵と技（瞑想、発酵、藝道など）に源泉を汲みつつも、地球環境との新たな
Co-Creationの可能性を探究する事例の調査・研究、ならびに実践。

2. 新たな学び・社会変革の場づくり

・既存の社会・教育の抱える様々な問題・弊害を解消すべく、新たな
コンセプトにもとづく、“共-育”的・“共-変容”的場の創造。（「三田の家」、
「Impact Hub Kyoto」など）。

3. “メタ批評”への挑戦

・近代の歴史的生産物である「Art」および「芸術」の概念と実践、ならびにその言説的営為である「批評」それ自体を
メタ的視点から自己“批評”する新たな学的挑戦。



図1 熊倉敬聡著「GEIDO論」
2021/09/ 春秋社

■ 地域貢献・社会貢献

・学術情報館「パフォーミング・ライブラリー」企画
本、図書館それ自体が「パフォーム」し、社会的に「開かれる」
図書館を目指すシリーズ。

昨年度は、第4回「但馬を記録する、但馬を創造する
「創造的アーカイヴ」の可能性」と題し、その第1弾パネルディス
カッション「但馬地域の文化資源に関するアーカイヴの現状と
課題」、第2弾ワークショップ「但馬の文化財でオリジナルの絵
本をつくってみよう！」（図2）を開催。



図2 パフォーミング・ライブラリー「但馬の文化財でオ
リジナルの絵本をつくってみよう！」

■ アピールポイント

・フランスでの博士論文『ステファヌ・マラルメの〈経済学〉』以来、私の関心は、常に芸術と社会がどのように相互に
（反）作用するかにあります。そして、その関心は、現在では（藝道/GEIDOも含めた）精神性・創造性と新しい社
会・経済の在り方の探究にいたっています。

ただし、私はその探究を単に理論的に行なってきただけでなく、たえず理論と実践が自分の中で累乗する形で行ってき
ました。コンテンポラリー・アートやダンスを研究・批評しつつ、自分でも創作したり踊ったり、あるいは、（大学を含めた）
現代の教育環境について研究しつつ、新たな学びの場を作り出してきました。慶應義塾大学在任中には、学びたい者
が学びたいように学ぶ「セルフ・エデュケーション」的授業の実践、さらにはそれを地域づくりと連動させた「三田の家」など
の立ち上げ・運営に携わってきました。また、10年近く暮らした京都では、社会起業家の国際ネットワークの拠点
Impact Hub Kyoto を、Dojo for Changeというコンセプトで立ち上げ、運営しました。

また最近、博報堂の University of Creativity、あるいはGlobal Ecovillage Network JapanのGaia
Education（ユネスコ認証教育プログラム）にも携わり、持続可能な創造性、コミュニティづくりにコミットしています。

教授 KOGA YAYOI
古賀 弥生 yayoikoga@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ **キーワード** 文化政策学、アートマネジメント
 社会包摂型の芸術体験活動に関するコーディネート、参加型芸術活動における
 コーディネーターの育成。文化ホール等の事業企画や運営に対する地域人材の育成。
 自治体の文化振興条例、計画、ビジョン等の策定

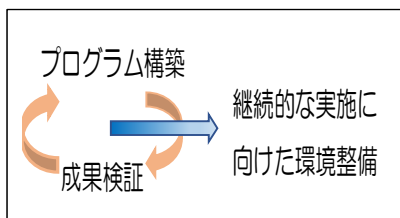
■ **教育研究**

- ・担当科目：アートマネジメント概論・文化政策概論（1年）
 地域コミュニティ論・地域創生論・地域創生実習（2年）
 文化政策実習・専門演習（3年）総合演習（4年予定）
- ・研究・著作：文化政策の潮流と社会包摂型文化芸術事業の実践～実践活動と政策形成の架橋に向けて～
 （単著 九州産業大学地域共創学部『地域共創学会誌』第8号2022/03）
 演劇ワークショップによるコミュニケーションへの影響～フリースクールでの実践事例から～
 （共著 九州大谷研究紀要〔開学 50 周年記念号〕2022/03）
 芸術文化と地域づくり～アートで人とまちをシェア～（単著 九州大学出版会2020/03）
- ・大学運営実績：学部長、研究推進委員会、ハラスメント対策委員会ほか

■ **専門領域**

1. 社会包摂型地域社会の構築

- への芸術文化による関与のあり方に関する研究
- 1)パーキンソン病患者のダンス活動に関するエピソード記述による分析
- 2)社会的処方と芸術文化活動の連関に関する実践活動
- 3)演劇ワークショップ等による子育て支援活動のプログラム構築



2. アートマネジメント人材養成

文化施設等における人材養成講座の企画立案に関する助言、講師等。



■ **地域貢献・社会貢献**

（2022年度実績）

- ・福岡県「春日市ふれあい文化センター」アートマネジメント人材養成講座 企画立案、講師
- ・福岡県大牟田市文化会館 文化団体・市職員対象アートマネジメント講座講師（2021年度までの実績）
- ・福岡県筑後広域公園・芸術文化交流施設「九州芸文館」運営協議会委員
- ・福岡市文化芸術振興財団理事
- ・福岡市文化施設管理運営評価委員会委員 ほか審議会等委員を歴任

■ **アピールポイント**

福岡で芸術文化を地域をつなぐ実践と研究を両輪として20年活動してきました。2022年4月、本学に着任。但馬でも、元行政職員、アートNPO代表の経験から、芸術文化による地域活性化、芸術文化と地域をつなぐ人材養成のお手伝いをしたいと思っています。

ONISHI NORIAKI
准教授 尾西 教彰

n_onishi@stdat.at-hyogo.ac.jp



02

■ キーワード アートマネジメント、文化施設、演劇学、芸能史

劇場・文化ホールの事業企画・運営、舞台芸術人材の養成、地域演劇・芸能の振興

■ 教育研究

- ・担当科目：文化施設運営論（2年）、専門演習（3年）、総合演習（4年予定）
舞台芸術基礎実習（1年）、芸術文化・観光プロジェクト実習（1年・2年）
舞台芸術実習・劇場プロデュース実習（2年・3年）、総合芸術文化実習（4年予定）

- ・（学内）実習支援センター長、教育課程連携協議会委員、教務委員、入試委員
（学外）日本演劇学会企画運営委員

・ 専門領域

- ①文化施設における社会包摂に向けた企画・運営の推進、文化資源の活用
- ②住民ニーズ、将来の地域像・必要コスト等を考慮した文化施設の有効活用、活性化の推進
- ③舞台芸術に係る知識・技術の普及・浸透による、地域の文化リーダー、豊かな地域コミュニティの創出

《研究活動》

- 大阪大学文学部および同大学院文学研究科の演劇学専修を修了。（修士（文学））
- ・大学生時代は古典芸能（特に能楽・狂言）の歴史・台本研究を行い、舞台出演も経験。
〈卒業論文〉『狂言における「秘曲」の展開 – 「釣狐」の主題の変遷を巡って –』
- ・大学卒業後、兵庫県立の劇場に勤務。現場実務の経験をもとに、地域の公立文化施設における舞台芸術創造、特に人材育成事業を通じたコミュニティづくりの可能性について、社会人大学院生として研究。
〈修士論文〉『公立劇団の活動における〈地域〉意識の変容 – 兵庫県立ピッコロ劇団の活動を通じて –』

《職歴》

- 平成8年7月、現・公益財団法人兵庫県芸術文化協会に入職。昭和53年開館された兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）において、演劇教育専門員として勤務。令和4年3月退職。

《主な実務経験》

- 鑑賞事業、文化セミナー、市民参加型イベントなど、劇場事業全般。特に、舞台芸術の学びを通じて地域文化を支える人材の育成を目指す「ピッコロ演劇学校」（昭和58年開設）・「ピッコロ舞台技術学校」（平成4年開設）、さらに人材育成事業の集大成として設立された、全国初の県立劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」（平成6年旗揚げ）の企画制作を中心に担当。



ピッコロシアター外観



「狂言」上演風景

■ アピールポイント

平成21年度文化庁新進芸術家海外研修制度（アートマネジメント分野）特別派遣研修員。西豪州の地方都市パースから世界的に活躍する演劇人を輩出する西豪州立舞台芸術アカデミー（The Western Australian Academy of Performing Arts）で研修。豪州における舞台芸術の創造環境・人材育成について滞在調査。卒業生の動向調査等をもとに、公立による舞台芸術教育のあり方や意義、地域振興との関わりについて研究。

講師 LEE JIYOUNG
李 知映 jinbangul@stdat.at-hyogo.ac.jp



02

■キーワード 文化政策学、文化経営学、演劇学、文化資源学
 国の文化政策及び各自治体の芸術文化振興、芸術文化とまちづくり、文化施設を取り巻く社会環境、各文化施設のより良い運営

■教育研究

- ・担当科目：パフォーミングアーツ概論（1年）、舞台芸術入門（2年）、世界の文化政策（2年）、韓国語（2年）、舞台芸術論（3年）、文化産業論（3年）、文化政策実習（3年）
- ・研究・著作：
 - 1 JSPS科学研究費助成事業（若手研究）「日本における劇場産業化政策の課題」（研究代表）
 - 2 JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(B)（一般））「平成の日本の文化政策と文化政策関連研究の検証」（研究分担）
 - 3 JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(C)（一般））「東アジアにおける近代劇形成の比較研究」（研究分担）
 - 4 李知映「舞台芸術の産業化」、単著、松本茂章編『はじまりのアートマネジメント』、2021年3月、水曜社、202～216頁。
 - 5 李知映「芸術家の福祉政策－韓国事例を中心に」、単著、小林真理編著『文化政策の展望』、2018年4月、東京大学出版会、136～160頁。
 - 6 李知映「文化政策のパラダイム変化－創作者中心から享受者中心へ－韓国を事例に」、単著、小林真理編著『文化政策の諸相』、2018年3月、東京大学出版会、3～16頁。
 - 7 李知映「植民地朝鮮の演劇と検閲」、単著、小林真理編著『文化政策の思想』、2018年2月、東京大学出版会、19～33頁。
 - 8 李知映「小劇場演劇の真髄を知る9名の演劇人への特別インタビュー」、「32年間の公演年表」、李知映、金世一、沼上純也編著『TINY ALIE IN WONDER YEARS[1983.04-2014.03]小劇場タイニイアリスのゆりかごから』、2015年3月、芸術新聞社、他

・専門領域

事例1 調査票調査、解析、考察
 「文化芸術振興基本計画」市民アンケート

回答結果	回答数	回答率(回答数/回答総数)
1.人々の生活の中に、文化芸術が根付いてきている	90	13.9%
2.デジタル文化を中心に、市民の文化芸術参加意識が向上している	46	7.1%
3.多様な文化芸術活動の場が中心に、市民の文化芸術参加意識が向上している	93	14.4%
4.文化芸術と市民の関わりが広がっている	45	7.0%
5.市民の文化芸術参加意識が向上している(調査アンケート)	22	3.4%
6.市民の文化芸術参加意識が向上している	57	8.8%
7.文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	14	2.2%
8.市民の文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	45	7.0%
9.文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	67	10.4%
10.市民の文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	23	3.6%
11.市民の文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	46	7.1%
12.市民の文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	31	4.8%
13.市民の文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	13	2.0%
14.市民の文化芸術参加意識が向上している、市民の文化芸術参加意識が向上している	49	7.6%
15.その他	5	0.8%
合計	646	100%

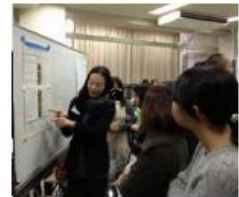
事例2 関連セミナー ワークショップ 「文化芸術の活性化によるまちづくり」



事例3 報告書等の出版
 ばもす！おまち
 ー地域文化コーディネーター派遣モデル事業報告書ー



事例4 学会でのポスターセッション発表
 「文化のまちづくりのための調査・方法論への一考察」



■アピールポイント

- ①平成24年4月～平成27年3月：長野県大町市「文化芸術の活性化によるまちづくり」計画の運営及び実施案について検討、活動アシスタント、指導教員と共に市民文化会議のファシリテーター
- ②平成25年4月～平成27年3月：埼玉県富士見市「富士見市文化芸術振興基本計画のための基本施策の策定」調査協力及びアクションプラン策定の協力、「富士見市文化芸術振興委員会」「富士見市文化芸術ワークショップ」ファシリテーター
- ③平成29年4月～平成30年3月：相模湾・三浦半島アートリンク（SaMAL = Sagami Bay and Miura Peninsula Art Link）推進会議委員
- ④平成30年6月～平成31年3月：東京都大田区「文化振興推進協議会文化施設のあり方分科会」副委員長
- ⑤平成31年4月～令和3年3月：「武蔵野市の文化を考える市民の会」委員
- ⑥日本文化政策学会理事、韓国地域文化政策国際理事、他

講師 KONDO NOZOMI
近藤 のぞみ



02

- キーワード アートマネジメント、文化政策、文化行政
文化施設の運営、事業計画、組織運営、まちづくり、
国際音楽祭、アウトリーチ事業、ボランティアの育成

■ 教育研究

・担当科目：

知と表現のデザイン(1年)、舞台芸術基礎実習(1年)、芸術文化・観光プロジェクト実習1-4(1-4年)、
文化施設運営論(2年)、世界の文化政策(2年)、舞台芸術実習A-D(2-3年)、文化政策実習(3年)、
総合芸術文化実習(4年)

・学内委員会活動：劇場運営委員会、実習支援センター

・専門領域

文化会館をはじめとした文化施設の運営や文化事業の企画・運営に15年以上携わってきた。また日仏の文化会館の比較なども行っており、「まちに根差し社会に開かれた劇場やホールの在り方」について探求している。その経験を活かして、大学ではインターン実習の仕組みづくりや、学内公演の制作指導を行っている。学内公演の指導は'21年度「忠臣蔵 キャンパス編」、'22年度「OZ2022」「詩の朗読」の制作を担当。

(1) 関心のあるテーマ

- ・多様な市民にとっての身近な文化施設や文化会館の運営
- ・文化施設での専門職員の雇用および活用、キャリアアップの仕組み
- ・クリエイションの場としての劇場やコンサートホールの在り方
- ・音楽祭や演劇祭などの文化事業による地域づくり
- ・観光客を引き寄せる劇場やコンサートホールのプログラムづくり

(2) 研究事例

- ・臨地実習（学外インターン）に関する研究
- ・地方映画館の存続に関する研究
- ・フランスの文化会館「文化の家」についての研究
- ・フランスの地方都市で行われる国際音楽祭についての研究
- ・県立芸術文化センターの公共性についての調査

(3) 文化事業の実績

- ・国際音楽祭やコンサート、演劇やダンス公演の実施
- ・国際コンクールの運営、市民オペラの制作
- ・演劇などのワークショップの企画運営
- ・病院や学校などでのアウトリーチの実施や巡回の仕組みづくり
- ・コンサート運営にかかわる市民ボランティアの育成
- ・街中パレードの実施

■ 地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：夢ホール運営等研修及び人材育成事業（新温泉町）

その他：YB act 会議（養父市）、京丹後市文化芸術振興審議会（京丹後市）

■ アピールポイント

現場経験を活かしたアドバイスが可能。

また、クラシック音楽、演劇、オペラ、映画、コンクール、市民美術展と幅広く経験している。

講師 KOBAYASHI RUNE
小林 瑠音



- キーワード 文化政策、現代アート、アートマネジメント
英国アーツカウンシル史、コミュニティ・アート史、
地域密着型アートプロジェクトの実践と評価

■教育研究

1. 担当科目

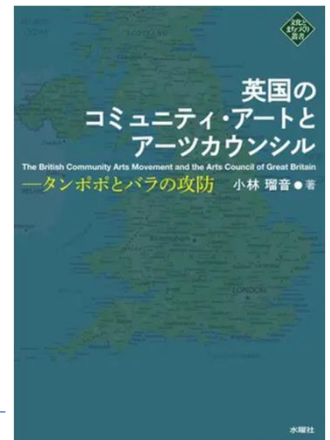
世界の文化政策、企業メセナ論、現代アート論、アートキャリア英語、
芸術文化・観光プロジェクト実習、文化政策実習

2. 研究

- 1) JSPS科学研究費助成事業（若手研究）
「英国コミュニティ・アートの再検討：歴史的変遷と国際的影響」（研究代表）
- 2) JSPS英国との国際共同研究プログラム（JPR-LEAD with UKRI）
「持続可能な文化の将来：コロナウィルスと文化政策の再設定」（分担者）

3. 本学の運営等の担当

キャリアサポートセンター、ハラスメント対策委員会、入試委員会



2023年3月公刊（水曜社）

■専門領域

1. 文化政策：英国アーツカウンシル史、芸術の社会的インパクト評価

- 1) 英国アーツカウンシル史：アーツカウンシル制度（芸術事業の助成や評価を行う専門機関）のモデルとなっている英国アーツカウンシルの歴史的変遷と日本への応用可能性に関する研究
- 2) 芸術の社会的インパクト評価：芸術事業が社会にもたらす影響に関する定性評価手法の研究

2. 現代アート：コミュニティ・アート史、地域密着型アートプロジェクト

- 1) コミュニティ・アート史：英国の事例を中心に、社会経済的困窮地区の住民を主体とした芸術活動の歴史と文化政策の影響に関する国際比較研究
- 2) 地域密着型アートプロジェクト：過疎高齢化対策や地方再生を目的とした芸術祭の事例研究、評価・アーカイブ手法の分析

3. アートマネジメント：子どもとアート

- 1) 子どもとアート：大阪の小劇場應典院を会場にした子どもと大人のアートフェスティバル「キッズ・ミート・アート」の企画・運営および幼児教育や教育哲学の専門家との共同研究。

■アピールポイント

應典院アートディレクター（2011-2015）、大阪府立江之子島文化芸術創造センターアーティストサポートプログラム審査員（2017-2018）、おおさか創造千島財団助成選考委員（2019-2022）、ICA京都プログラム・オフィサー（2020）、一般社団法人CHISOU（奈良県立大学実践型アートマネジメント人材育成プログラム）理事（2020-）他

IHARA RENA
助教 井原 麗奈



02

■ キーワード 近代文化史、文化施設の研究、アーツマネジメント
文化施設、文化財調査

■ 教育 担当科目：アートマネジメント概論、知と表現のデザイン（1年必修）、
文化政策概論（1年選択必修）劇場プロデュース実習（2・3年）、
文化政策実習（3年）

■ 研究の概要

- 1：文化施設、文化財調査：戦前期に設置された公会堂の研究
- 2-1：アーツマネジメント(音楽以外の分野)：伝統芸能、現代美術、文芸系のアーティストと連携したワークショップ、講演会、展覧会などの運営(京都芸術センター、神戸大学、静岡大学などでの実績)
- 2-2：アーツマネジメント(音楽)：「有限責任事業組合アンサンブル・ラロ、ジャパン」の経営。
[事業内容]・音楽公演の演奏請負・個人、団体に対する音楽の演奏指導・演奏家のマネジメント
・コンサートの企画、運営、広告、宣伝、事務代行・文化・芸術に関する調査、研究、人材育成等

■ 研究事例

主な投稿論文・研究ノート

1. <論文>「植民地期朝鮮の公会堂に対する支配権力の認識について—都市における設置状況と運営主体を中心に—」平成25年2月/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第6号(P.19~P.34)
2. <論文>「大阪市中央公会堂貴賓室(特別室)」の天井画・壁画の公共性に関する考察」平成26年12月日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第15号(P.16~P.28)
3. <研究ノート>「戦前期の行幸啓からみる公会堂の公共性」平成27年3月/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第8号(P.79~P.93)
4. <論文>「公会堂と「社交」—戦前期における利用者の社会階層を視点として—」平成27年12月/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第16号(P.24~P.35)
5. <研究ノート>「公会堂にみる「公」と「私」の境界線」平成27年12月/神戸女学院大学紀要「論集」第62巻第2号(P.41~P.59)
6. <研究ノート>「京都市岡崎公会堂：文化の中心としての役割について」平成28年3月/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第9号(P.84~P.97)
7. <事例報告>「台湾における近代文化の保存と継承—公会堂を中心としたフィールドワークに基づいて」平成29年5月/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第10号(P.123~P.131) 共著
8. <研究ノート>「旧小樽区「公会堂使用決裁簿」(大正9~13年度)の史的価値について」平成30年3月/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第17.18合併号(P.24~P.35)
9. <事例報告>「日本期の南サハリンの公会堂に関する調査」令和2年3月「静岡大学 地域創造教育研究」創刊号(P.1~P.10)
10. <研究ノート>「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について—新義州・木浦・春川の事例を中心に」令和4年/芸術文化観光専門職大学紀要「芸術文化観光学研究」創刊号(P.109-121) (科学研究費助成事業 若手研究(B) 課題番号：17K13368) ほか

■ 社会貢献

一社) アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム理事 2022年度~
東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者評価委員会委員 2021年度~ (東京都生活文化局)
東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者選定委員会委員 2023年度~ (東京都生活文化局)

■ アピールポイント

- 1：学外組織と連携した文化施設、文化財調査
2018年度：静岡大学地域連携応援プロジェクト『旧マッケンジー住宅の顕彰事業』
静岡市文化振興財団との連携。
2020年度：静岡大学地域連携応援プロジェクト『PAINing展』(若手現代美術作家の支援)
静岡県立美術館との連携。
- 2：学外組織と連携したアーツマネジメント
ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロのコンサートツアー(依頼公演：西条、大垣、大船渡、大津、札幌、静岡、東京等)のオーガナイズ、国内外の演奏家のマネジメント、ステージマネージャー。



語学

傅 建良 -----24

姚 瑶 -----25

情報

藤本 悠 -----26

FU KENRYO
 講師 傅 建良 fu_kenryo@stdat.at-hyogo.ac.jp



03

■ キーワード 英語学 対照言語学 言語によるコミュニケーション
 意味論 現在完了形 文法化 動詞のアスペクト意味
 語彙概念構造 News Perfect用法 形式と意味の不一致現象
 専門職大学における教養科目間の連携 言語景観 など

■ 教育研究

担当科目：英語1A・1B、英語合宿、海外語学研修A・B・C

研究・著書①（単著、2021年）

英語の現在完了形は現在と過去という二つの時間の関係を表す複合時制である（Leech, 2004; Huddleston et al, 2002等）。古英語まで遡ると「I have my work finished.」のような語順だった。また、「Einstein has visited Princeton.」はアインシュタインが生きている間のみ適格であるとの見解がある。更に、口語では「I seen it.」のような「間違い」が無視できないほどある。この謎多き英語の現在完了形について、本書は意味論、文法化及び英語・日本語・中国語三言語対照の視点から、その本質に迫る。

研究・著書②（共著、2020年）

担当：第II部、「構文研究」、第2章「Before節における過去完了形と過去形－出来事の時間的構造の視点から－」

研究論文・研究ノート（2021～2022年分）

- ①（単著）「形式と意味の非対称の謎解き－Fill inとFill outを中心に－」『芸術文化観光学研究』(1) 181-188 2022年9月
- ②（共著）「芸術文化観光専門職大学における語学教育とICT教育の架橋について」『芸術文化観光学研究』(1) 164-180 2022年9月
- ③（単著・日本英語コミュニケーション学会第15回学術奨励賞受賞）The Form and Meaning Asymmetry: Focusing on “Commencement Ceremony” and “Confidence Trick” 日本英語コミュニケーション学会紀要 31(1) 53-62 2022年12月
- ④（単著）The Lexical Conceptual Specification (LCS) and Lexical Conceptual Elimination (LCE) Principles in Cononymy 日本英語コミュニケーション学会紀要 30(1) 53-61 2021年12月

研究発表（オンライン、2021年）

The English Curriculum for a Newly Established Professional College in Japan (2021 Joint International Conference on English Teaching and Learning in Korea, 2021年7月2日)

本学の運営等の担当

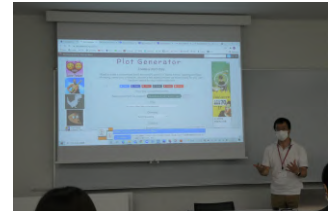
国際交流センター（英米協定校など担当）教務委員

専門領域

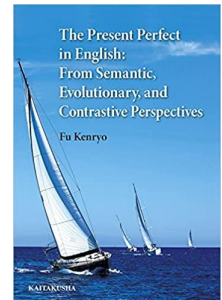
専門は英語の語法文法で、英語・日本語・中国語の対照研究。

■ 社会貢献

日本英語コミュニケーション学会理事、HYOGOGO-タリ-Eクラブ会員



授業風景：英語合宿2021



開拓者 2021.10 発行



開拓者 2020.9 発行

講師 YAO YAO
姚 瑶

yao_yao@stdat.at-hyogo.ac.jp



03

■ キーワード 母語・継承語・バイリンガル教育、応用演劇、第二言語習得、多文化共生、異文化コミュニケーション、外国につながる子どもの教育支援

■ 教育研究

・担当科目：中国語、日本語、海外実習

・研究：

- (1)単書『演劇的手法による日本語教育に関する理論的・実証的研究』（花書院、2017）
- (2)共著『生命教育視域下小学生心理健康教育教学研究』（廈門大学出版社、2022）
- (3)演劇祭来訪者の広域観光周遊を促す時限的な言語景観の整備による多文化共生社会の構築（科研費 基盤研究C 共同研究）
- (4)語学教育とICT教育の融合及び人材育成（共同研究）
- (5)多文化共生に関する研究：

- ①外国にルーツを持つ子どもの母語・継承語教育および日本語教育に関する研究（言語学、教育心理学、社会心理学などの学際的研究）
 - ②「生活者としての外国人」の日本語教育支援および、地域日本語学習支援者の養成
- ・本学の委嘱委員：学生生活委員会委員、エクステンションセンター委員

・研究事例



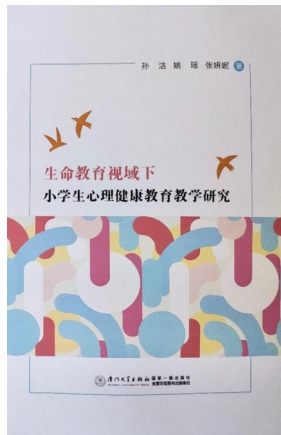
『演劇的手法による日本語教育に関する理論的・実証的研究』（単著）



「中国語と中国文化を楽しもう！」ワークショップ



【豊岡市】多文化共生推進事業 成果発表会



『生命教育視域下小学生心理健康教育教学研究』（共著）



【朝来市】職員対象多文化共生研修



【新温泉町】多文化共生演劇ワークショップ（2023年2月21日 日本海新聞）

■ 地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS 豊岡市多文化共生推進事業：母語・継承語教育支援事業

■ アピールポイント

豊岡市多文化共生推進会議副会長、母語・継承後・バイリンガル教育（MHB）学会会員、言語文化教育研究会会員、日本演劇学会会員、多文化関係学会会員、日本語教育学会会員、中国語教育学会会員、国際表現言語学会会員、東アジア日本語・日本文化研究会会員、韓国日本文化学会会員、劇団14+劇団員、（有）パブリックチャンネル所属俳優、NPO法人えんげき広場cue会員

准教授 FUJIMOTO YU
藤本 悠 yu_fujimoto@stdat.at-hyogo.ac.jp

兵庫県大学法人 学術総合情報統括本部 CIO補佐
芸術文化観光専門職大学 学術情報センター 副センター長



■ キーワード 地理情報科学／文化情報学

GIS、自治体DX、オープンデータ、デジタルアーカイブ、文化財、公衆衛生、教育、企業誘致、林業、地域経済

■ 教育研究

担当科目：情報処理演習（1年）、ICT演習（2年）、観光情報演習（3年予定）
専門演習（3年予定）、総合演習（4年予定）

・専門領域

- 過疎地域の総合的研究
 - ・但馬地域における総合的調査（工業団地、農林漁業、教育、経済、定住、公衆衛生）
 - ・人口減少対策およびU・I・Jターンの誘致策およびその課題に関する調査研究
 - ・ICTを活用した少子化地域における教育に関する総合的な調査研究
- ジオパーク運営に関する調査研究
 - ・ジオパークに関わる行政、地域住民、専門員の活動に関する調査
 - ・ジオパークにおける人文地理学の位置づけに関する総合的な研究
- データサイエンス
 - ・ArcGIS、QGIS、Rなどを用いたGISの運用および地理空間分析手法の開発
 - ・Google Earth Engine を用いたリモートセンシング
 - ・アンケートなどにおける自由記述回答の分析（テキストマイニング）
- デジタルアーカイブ
 - ・低コストな方法を用いた地域資源（写真、ガラス乾板、フィルム、文化財など）

■ 地域貢献・社会貢献

- 教育支援
 - ・高等学校における教職員向けのICTワークショップ
 - ・高等学校の生徒向けの情報リテラシーの出張講義
 - ・高等学校向けのICTを活用した探求の授業
 - ・未就学児童と保護者向けのイベントの開催（学術情報センター）
- 行政支援（DX／オープンデータ）
 - ・自治体DX／オープンデータに関するセミナー
 - ・自治体業務のDXの実践
 - ・工業団地の実態調査と企業誘致に関する調査
 - ・地域の文化財の利活用に関する調査
- 但馬地域の課題に関する調査
 - ・三市二町の様々地域での聞き取り調査とブログ執筆



豊岡市における自治体DX／オープンデータ推進とICT授業とのコラボレーション企画の実施の様子

■ アピールポイント

学生時代は考古学を専攻し、国内外での発掘調査にも関わっていたため、文化財行政にも詳しい。また、前任では地理学の専門教員として教育研究活動をしてきたこともあり、過疎地域に関する地域課題について関心があり、人口問題、地域経済、公衆衛生、地場産業、企業誘致、社会教育などにも精通している。また、SDGsとジオパークに関する調査研究も行って、全国のジオパークにて専門員や自治体への聞き取り調査を継続的に行っている。CATに着任後は、但馬地域の総合的な地理的調査を行っている。ICTに関しては2000年代の電子自治体から現在の自治体DXまで、歴史的な経緯にも詳しい。最近ではメタバースにも関心があり、特に教育分野での活用について検討している。



中尾	清	-----	28
大社	充	-----	29
小熊	英国	-----	30
西崎	伸子	-----	31
直井	岳人	-----	32
塩川	太郎	-----	33
高橋	伸佳	-----	34
池田	千恵子	-----	35
野津	直樹	-----	36
高橋	加織	-----	37
中村	敏	-----	38

教授 NAKAO KIYOSHI
中尾 清 k-nakao0418@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 観光学 総合政策科学 観光政策・行政 温泉論
観光まちづくりの実践・支援 温泉観光地域の活性化支援

■ 教育研究

- ・担当科目：観光政策論、観光地理学（オムニバス）、宿泊業実習1・2、地域連携実習、専門演習、総合演習
- ・本学の運営等の担当：紀要「芸術文化観光研究」編集委員長、労働安全衛生委員、観光経営系専攻長
- ・研究：著作 …「地方観光政策と観光まちづくりの展開」単著、「都市観光行政論」単著、「自治体の観光政策と地域活性化」単著、「観光学入門」(共編著)

関連分野の経験

- ① 観光基本計画などは、大阪府岸和田市、和歌山県岩出市で経験あり、また、「総合基本計画」審議会委員として、大阪府泉南市、阪南市、田尻町で計画作りに参画した。さらに神戸市職員時代、垂水区区別計画の総括をした経験がある。
- ② 大阪観光大学の教員（現在、名誉教授）として、大阪府南泉州地域（岸和田市以南5市3町）をフィールドとして社会貢献の実践をしてきた。その前職の神戸市職員では、経済・開発畑を歩き、主として観光やまちづくり推進、勤労者の生涯学習などの経験がある。
- ③ 「声がかかればどこでも行く」を信条にしていたので、授業に支障のない限り、「相談」「打ち合わせ」「講演」など「どこへでも行く」を実践してきた。

・専門領域

研究事例

事例1 地域の観光まちづくりの実践や支援

大阪観光大学では、教育研究の傍ら、地域貢献として地域の観光まちづくりの実践や支援をするともに「観光出前講座」も要請があれば積極的にいった。

得意分野・・・「観光学概論」「ボランティアガイドとホスピタリティ入門」「温泉概説」などである。

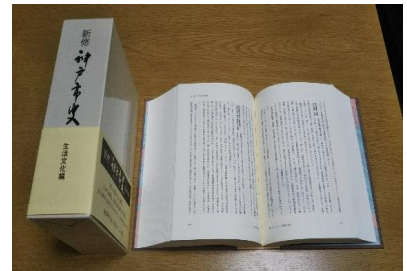
事例2 近現代の有馬温泉における温泉観光まちづくりの系譜

・研究の経緯

有馬温泉は神戸市観光係長で職務として関わってから地元と関係が深まり、その後大阪観光大学に転じてからも研究のフィールドとしてきた。平成29年初めに神戸市の依頼を受け、平成29～令和元年度の3か年かけて、研究しその成果をまとめた。

・研究の成果

分担執筆『新修神戸市史・生活文化編』（第2章「地域と生活」第3節「有馬温泉の発展と課題」140～198頁、令和2年3月発行）



分担執筆『新修神戸市史・生活文化編』（第2章「地域と生活」第3節「有馬温泉の発展と課題」140～198頁、令和2年3月発行）

■ 地域貢献・社会貢献

《現在、就任している公職》 泉佐野市特別顧問（観光行政・政策、～令和6年3月まで）

（一社）泉佐野シティプロモーション推進協議会顧問

《過去、就任した主な公職》 泉南市都市計画審議会会長（～令和3年10月まで）、大阪府民の森等指定管理者評価委員会委員長、大阪府和泉市観光推進委員会副会長、岸和田市観光振興計画策定検討委員会委員長、同公共事業評価委員会委員長、泉佐野市犬税検討委員会委員長、泉南市総合計画審議会会長、阪南市・田尻町総合計画審議会委員、新修神戸市史「生活文化編」執筆委員など多数。

■ アピールポイント

《元職》 神戸市職員、大阪観光大学教授（現在、名誉教授）

OKOSO MITSURU
教授 大社 充



■ キーワード 観光地の経営（デスティネーションマネジメント）

観光マーケティング、DMO形成支援、観光のソーシャルインパクトスタディ

■ 研究の概要

【主要な著書・研究報告書】

- ・共著『人生を一瞬で変える旅に出よう』山と溪谷社（2007）
- ・単著『体験交流型ツーリズムの手法－地域資源を活かす着地型観光－』学芸出版（2008）
- ・共著『東日本大震災・原発事故 復興まちづくりに向けて』学芸出版社（2011年）
- ・単著『地域プラットフォームによる観光まちづくり－マーケティングの導入と推進体制のマネジメント－』学芸出版社（2013）（第36回交通図書賞奨励賞）
- ・単著『DMO入門 官民連携のイノベーション』事業構想大学院大学出版部（2018）（第13回観光研究学会・観光著作賞）
- ・共著『協力のテクノロジー』学芸出版（2022）

【地域の取り組み】 観光事業（DMC）運営人材研修を全国80地域以上で実施、各地での講演多数。「観光地マーケティングの導入」「DMO形成・確立」の支援に全国20地域以上で従事。現在、「観光が地域に与える影響（ソーシャルインパクト）」の可視化に取り組んでいる。

DMO研究・デスティネーションマネジメント研究の先駆、第一人者

■ 研究事例

◆ 事例1

デスティネーションマネジメントの基本フレームワーク

事業内容	地域外(市場)への働きかけ				域内への働きかけ							すべての市場に求められる環境整備
	対象とする市場				受入環境整備							
	国内		海外		飲食	宿泊	交通	施設	小売	体験		
市場カテゴリ	団体	個人	団体	個人								
特定市場	カテゴリA											
	カテゴリB											
	カテゴリC											
	カテゴリD											
細分化した個人客												
〇合計												

● 専門領域（観光地域の経営）

地域の住民や事業者が主体となり、データによる地域の評価・分析をもとに観光地域づくりを進めること

■ アピールポイント

- 2009-2010国土交通省「成長戦略会議」（観光分野／都市分野担当）
- 2010 内閣府行政刷新会議規制制度改革「農林・地域活性化WG」
- 2013 経済産業省「産業構造審議会」委員
- 2014-2019内閣官房「まち・ひと・しごと創生会議」委員
- 2020- 総務省「ふるさとづくり懇談会」委員
- 2021-2022 兵庫県「ユニバーサルツーリズム推進検討会」座長

（ほか）

◆ 事例2

DMO形成・確立支援

民主導型DMOの構造を明確化
【官民連携の新たな仕組み構築】

課題(財源・組織・人材)の整理

条例案の作成

事業者・市民・議会への説明・合意

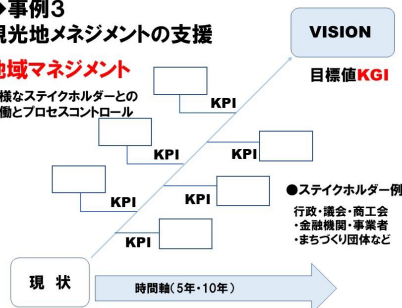
わが国のDMOの多くは官主導型

◆ 事例3

観光地マネジメントの支援

地域マネジメント

多様なステイクホルダーとの協働とプロセスコントロール



OGUMA HIDEKUNI
教授 小熊 英国



■キーワード サービスマネジメント 観光学 有人宇宙学

■教育研究

- ・担当科目：マネジメント入門、観光事業概論、観光交通業実習、観光サービスマネジメント論、旅行産業論、旅行事業実習
- ・本学の委嘱委員：教務委員会委員、実習支援センター長

・専門領域

1. サービスマネジメント

観光を中心としたサービス業（飲食、宿泊等々）をハーバード経営大学院の研究で有名なSPCモデルや、顧客満足マーケティング等の手法を活用し事業開発・支援

2. 観光学

大手航空会社の海外拠点でジェネラルマネジャーとして従事、世界100ヶ国以上の渡航経験を活かし、外国人の日本誘致、インバウンドを研究

3. 有人宇宙学

宇宙における観光と旅行について京都大学大学院にて研究

事例1 講演

第6回江東区観光協会セミナー 開催のお知らせ

空の観光のプロフェッショナルの視点での世界と日本の観光事情

これまで世界 100 か国以上に渡航、
ハイコンターOAの世界から海外ツアー企画の裏側や世界と日本の観光事情を語ります。
「観光立国から観光先進国へ」

日時：平成31年2月15日(金)18:00~20:00
会場：江東区産業会館 第12会議室
(東京外口駅前線博田口駅C)
参加費：無料

講師紹介
クレス経営大学助教授
小熊 英国氏 Ph.D. (学術博士)

事例2 コロナ渦のサービス業 セミナー

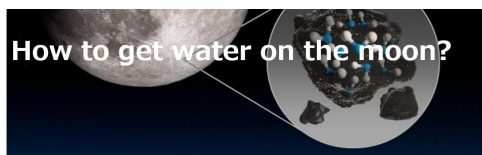


2020あさって会議N 小熊英国様

事例3 サービス業のコンサル（社員による課題抽出）



事例4 宇宙に関するフォーラム調査発表



●ICE exists underground.
NWA 2727と呼ばれる月隕石から「モガナイト」と呼ばれる水が関与してできる鉱物を発見
沈殿反応 $(\text{SiO}_2(s) + 2\text{H}_2\text{O} \leftrightarrow \text{H}_2\text{SiO}_3(aq))$ には水が不可欠

●water on the moon surface
微小な隕石が衝突する際の衝撃によって、年間最大220トンもの水が放出されている
NASAの探査機LADIE
2019年4月18日付の学術誌「Nature Geoscience」
月の南半球にあるクワダウス・クレーターを観測した結果、6.1μmの水分子に特有の波長を検出。1m²の土の中に、100~412ppmの水分子が閉じ込められている

学術誌「Science Advances」
https://www.science.org/doi/10.1126/sciadv.aaf0777

学術誌「Nature Astronomy」の10月26日発行

事例5 インバウンドツーリズム 海外現地調査



■アピールポイント

経営、観光、サービスホスピタリティの分野において、大企業をはじめ多くの企業、地方自治体等で講演、講義、コンサルティングに携わってきました。企業のアドバイザーボード、学会理事多数兼任。

NISHIZAKI NOBUKO

教授 西崎 伸子 博士（地域研究）

nishizaki@stdat.at-hyogo.ac.jp

- キーワード 学問分野：地域研究、生態人類学、環境学
東アフリカ、エチオピア、野生動物保全、民族文化観光、再生可能エネルギー開発、
自然資源の持続的利用、住民参加

■ 担当授業

・社会調査学・社会調査演習・ニューツーリズム論・
知と表現のデザイン・国際環境論・専門演習・総合演習

・学内業務
・教務委員長

■ 研究領域

（1）アフリカの野生動物保護政策に関する研究

Nobuko NISHIZAKI. 'Park scouts/Rangers as Key Persons Connecting Local People and Park Authorities: The Case of Ethiopian Wildlife Protected Areas'. Toshio Meguro・Chihiro Ito (eds.) *"African Potentials" for Wildlife Conservation and Natural Resource Management: Against the Image of 'Deficiency' and Tyranny of 'Fortress', Langaa Rpcig*. 2021.

西崎伸子. 第7章「新自由主義的保全アプローチと住民参加 —エチオピアの野生動物保護区と地域住民間の対立回避の技法」『アフリカが示す「国立公園観光化」の教訓—地域社会と円滑にかかわるために』2017年8月.

（2）観光に関する研究

西崎伸子. 'An Ethiopian Alternative to "Traditional" Ethnic Tourism', *global-E*.12(1) 2019.

西崎伸子. 「エチオピア西南部における民族文化観光の展開—新規参入のアクターに着目して」『アフリカ研究』92:43-54. 2017.

（3）災害復興に関する研究

西崎伸子. 「原発災害の「見えない被害」と支援活動」清水修二他『東北発・災害復興学入門—巨大災害と向き合う、あなたへ』山形大学出版会,2013.

共同研究・競争的資金等の研究課題

・科研費（基盤研究B）代表「東アフリカの再エネ開発をめぐる社会的合意形成と土地利用再編の解明」2020年4月 - 2024年3月.

・科研費（基盤研究A）分担「アフリカ観光の新潮流と少数民族社会の再編：「プロジェクト型観光」に着目して」2017年4月 - 2023年3月.

・科研費（基盤研究B）分担「「福島を伝える」ICT教材開発と評価」2020年4月—2023年3月.

■ 社会貢献

福島の子ども保養プロジェクトアドバイザー（2011年10月～現在）
NPO法人みみをすますプロジェクト理事（2015年4月～2023年3月）

■ アピールポイント

- ・エチオピアの自然保護区の管理に関する政策提言（2000年～現在に至る）
- ・アフリカの民族文化観光についての観光業者との協働（ワークショップなど）（2011年～現在に至る）
- ・東日本大震災以降の子ども・女性支援と講演活動（2011年～現在に至る）
- ・福島県の環境関連の審議会委員（福島県環境影響評価審査委員会委員（2011- 2015）など



人々と飲食を共にしながらの調査スタイル
（エチオピア西南部の村にて）

NAOI TAKETO
 教授 直井 岳人 taketo_naoi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 観光研究（観光者心理）

実学的：再訪促進、観光資源発掘、入店したくなる店舗の印象、混雑感緩和
 学術的：手段目的連鎖モデル、混雑感、生活感、ロイヤルティ、景観評定、
 環境配慮行動
 対象地：歴史的町並み、商店街、テーマパーク、演劇祭など

■ 教育研究

- ・担当科目：観光産業マーケティング論、観光マーケティング分析、デスティネーションマーケティング論、旅行者心理学、観光キャリア英語、専門演習、総合演習
- ・専門領域：観光研究（環境心理学、消費者行動）
- ・研究概要：
 - 魅力的だと思う場面の写真を撮影し、撮影理由を答えてもらう（キャプション評価法）
 - 観光者の環境配慮行動（ごみを正しく捨てるなど）を促進するためのしかけ
 - 入店したくなる店舗の印象に関する研究
 - 混雑感の緩和：混雑していないほうが良い場面、しているほうが良い場面に関する研究
 - 芸術祭来場者の「ついで観光」（空いた時間の観光、開催時期以外の再訪）
- ・アピールポイント：
 - 対応可能な調査手法：アンケート調査、インタビュー、景観評定実験、テキストマイニング
 - 英語での講義、講演可能
 - 文系と理系、海外と国内の2つの博士号：観光[学術]イギリス、工学[都市計画]日本

■ 主な研究業績

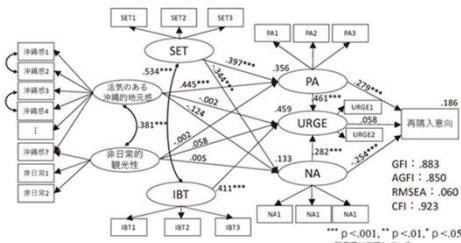


図-4 全体評価と観光者特性に関わる包括的購買モデル

- 科研C 観光者の環境配慮行動を誘発する他者行動：旅の恥をかき捨てない観光者行動の為に（2023年度まで）
- 科研Cイベント観光の時空間的広がり：演劇祭会期中回遊性と会期外再訪意向が生じる仕組み（2025年度まで）
- Asia Pacific Journal of Tourism Research : 2023年
- ・Impact of Incomplete Planned Experiences on Tourist Satisfaction: A Case of Tokyo Disneyland
 河田 浩昭・直井 岳人
- 日本観光研究学会全国大会【発表 + 発表論文】：2021年
- ・GoTo トラベルキャンペーン利用意向と観光に関する心理的要因の関係：GoTo トラベルキャンペーン開始 直後の東京都のケース
 直井 岳人・十代田 朗・飯島 祥二・上原 明
- 公益財団法人 日本交通公社発行：2021年8月10日

【論文】観光研究：2021年
 （上原・直井・飯島・伊良皆、2020）

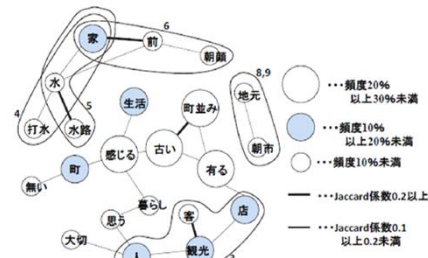


図2：問8への回答中の頻出語間の関係

【論文】都市計画論文集：2013年
 （直井・十代田・飯島、2013）

- 日本観光研究学会【特集論文】観光研究：2021年
- ・観光地での訪問客と他者との係わり：感染症流行期およびその前後における訪問客心理の観点から
- 日本観光研究学会【論文】観光研究：2020年
- ・観光者の購買行動を促す店舗の評価に関する研究
 ー沖縄県那覇市国際通り周辺商店街における土産物購買の場合ー
 上原 明・直井 岳人・飯島 祥二・伊良皆 啓
- 公益社団法人日本都市計画学会【論文】都市計画論文集：2013年
- ・観光地としての歴史的町並みにおける地元の生活の様相
 ー訪問客のまなざしの対象と、それに対する住民の評価ー
 直井 岳人・十代田 朗・飯島 祥二
- Tourism Management：2011年
- ・Applying the caption evaluation method to studies of visitors' evaluation of historical districts
 直井 岳人・山田 孝延・熊澤 貴之

准教授 SHIOKAWA TARO
塩川 太郎 kuwataro@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 観光地理学、歴史学、行動生態学
文化遺産、観光資源、災害文化、自然教育

■教育研究

・担当科目：観光地理学、観光資源実習、国際防災論、海外実習A、専門演習、総合演習

・研究：著作

<論文>

- 「台湾の日本統治時代に造られた西国三十三所観音霊場
-現状と保存維持・観光資源化への課題-」、『台湾研究』
- 「1999年台湾921大地震における地震記念碑について」、『歴史地震』
- 「台湾における災害文化と防災事情」、『海外事情』
- 「台湾における温泉旅行の志向性(1)-台湾温泉の印象-」、『温泉』・・・等

<学会発表>

- 台湾921大地震の震災遺構と防災ツーリズム（人文地理学会）
- 台湾宜蘭県に残る西国三十三所霊場の観光利用について（日本観光研究学会）
- 台湾鹿港における公共レンタサイクルと観光振興について（日本観光研究学会）・・・等

・専門領域

(1) 文化財と観光振興

地域の文化財を調査し、文化財が持つ歴史・文化的価値を明らかにすることで、保存維持と観光資源化について考える。

(2) 災害文化と防災

過去の災害を伝える災害伝承碑や遺構を調査し、防災教育に役立てる。

(3) 国際交流（CAT国際交流委員）

海外の大学等を通して日本語可能な外国人学生のインターンシップネットワークの構築。

(4) 自然観光資源の利用

動物や昆虫の生態調査を行い、生態系の保護や自然観光資源としての利用を考える。

地域の昆虫展開催→子供向け教育コンテンツ等



図1 文化財調査（塩川）



図2 拓本作業による碑文の解読（塩川）



図3 開催した昆虫展の新聞記事（一部加工）

■アピールポイント

<2つの博士号> 文学博士と農学博士

- ・震災関連行事に歴史地震研究の専門家として参加。
- ・東日本大震災関連のラジオ番組に防災学の専門家として出演。
- ・地方銀行にて昆虫展を開催（夏休み期間）、昆虫博士として標本作成など子供向けワークショップを行った。
- ・台湾の大学（観光・文学系）にて勤務。学科長や国際交流委員など歴任。

TAKAHASHI NOBUYOSHI

准教授 高橋 伸佳 n_takahashi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード **地域活性化、まちづくり、ヘルスケア、ウエルビーイング、スポーツ**
ヘルス&スポーツツーリズム、ワーケーション、スマートシティ、
観光衛生マネジメント、医療インバウンド

■ 教育研究

・担当科目：観光事業概論、ニューツーリズム論、宿泊産業論、エリアマネジメント論、
観光プロモーション演習、宿泊業実習、ホスピタリティ実習、ディステイネーション実習、専門演習

・研究：

RIC PROJECT

- ・豊岡市（2022）「豊岡コミュニティ・ツーリズム推進プロジェクト ヘルス&スポーツツーリズム事業」
- ・豊岡市（2022）「道の駅『神鍋高原』最適化整備運営計画策定アドバイザー業務」

その他

- ・Handbook of Japanese Tourism（第27章 Tourism and Covid-19）The Japan Document Handbooks Series（編著）
- ・コロナ後の観光地のコンテキスト転換に関する一考察 ～兵庫県豊岡市を事例として～ 芸術文化観光学研究 第1号

・本学委嘱委員：学生部長ほか

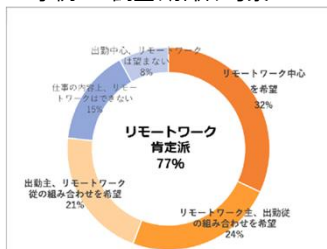
・専門領域

観光・健康・スポーツを中心としたサービス業の事業開発、事業再構築、サービス・マーケティング、サービス品質

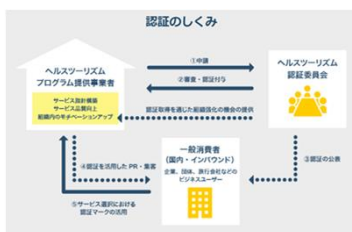
事例1 セミナー、ワークショップ



事例2 調査、解析、考察



事例3 政策・制度設計



事例4 プログラム・コンテンツ開発



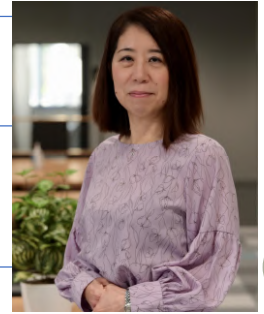
事例5 プロジェクト推進
社会実装



■ アピールポイント（地域貢献・社会貢献）

- ・特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構（業務執行担当理事）を通じた全国の地域活動支援
- ・日本経団連ヘルスケア産業部会「健康投資と企業経営」委員（2006～2007年）、経済産業省近畿経済産業局「健康文化産業の見える化」委員（2008年）、大阪市「健康予防医療プロジェクト」コーディネーター（2008～2009年）、国土交通省観光庁「ニューツーリズムの顧客満足度調査」委員（2011年）、静岡県「ふじのくにしずおか観光振興アドバイザー」（2011年～）内閣府「沖縄独自の医療情報基盤を活用した実践的医療サポート及び医療情報活用産業」委員（2015年）、栃木県「とちぎヘルスケア産業推進懇話会」委員（2016年～2019年）、東京商工会議所「健康づくり・スポーツ振興委員会」委員（2016年～）、東京消防庁「救急車適正利用等の促進に関する有識者会議」委員（2017年）、経済産業省「医療技術・サービス拠点化促進事業」研究会委員（2017年）、熊本県荒尾市「（仮称）道の駅あらお」委員（2018年～2020年）、都市再生機構「URまちづくり支援専門家」（2019年～）、埼玉県三郷市「三郷市都市型ヘルスツーリズム推進協議会」座長（2019年）、Go Toトラベル「コロナ対策全施設調査に関するアドバイザー」（2020年）、環境省「国立公園満喫プロジェクトにおける自然体験コンテンツのガイドラインに係る作成等業務」検討会委員（2020年）、日本観光経営学会理事（2020年～）、観光庁「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内促進に向けた実証事業」専門家（2021年）、養父市「道の駅ようか運営者選定委員会」委員（2021年）、地域総合整備財団「令和4年度地域再生マネージャー事業」推進アドバイザー（2022年）、観光庁「令和4年度地域独自の観光資源を活用した 地域の稼げる看板商品創出事業」専門家（2022年）スポーツ庁「令和4年 Sport in Life 公募モデル事業」審査員（2022年）豊岡市「ネオカルTOYOOKA推進協議会」会長（2022年～）、朝来市「あさご芸術の森多々良木交流館指定管理者選定委員会」委員長（2022年）、豊岡市「道の駅 神鍋高原」最適化整備運営計画策定委員会」委員長（2022年～）など、公職等を通じて研究の社会実装や活動支援に取り組んでいる。

IKEDA Chieko
准教授 池田 千恵子



04

- キーワード 観光まちづくり、アルベルゴ・ディフーズ、ツーリズムジェントリフィケーション 地域再生
- 研究分野 観光地理学、都市地理学、人文地理学
- 教育 担当科目：芸術文化・観光プロジェクト実習（1・2・3・4）、ディステイネーション実習、海外実習A、専門演習、総合演習

■ 研究内容

▶ 中心市街地の再生（リノベーションまちづくり）

池田千恵子（2019）「リノベーションによる中心市街地の再生 -新潟市上古町地区を事例として-」、日本都市学会年報（52）pp. 187-195

▶ アルベルゴ・ディフーズ（まち全体宿）

池田千恵子（2022）「歴史的建造物の再利用による地域の再生 -アルベルゴ・ディフーズに認定された岡山県矢掛町を事例として-」、日本都市学会年報（55）、pp.149-158

▶ ツーリズム・ジェントリフィケーション（観光振興による不動産価格の高騰、立退きなど）

池田千恵子（2022）「城崎温泉における観光需要の高まりによる地域の変容」、都市地理学（17）、pp.10- 21

池田千恵子（2021）「観光需要の拡大による地域の変容 -京都市下京区菊浜を事例として-」、日本都市学会年報（54）pp. 167-175

池田千恵子（2020）「町家のゲストハウスへの再利用と地域に及ぼす影響 -京都市東山区六原を事例として-」、地理学評論 Vol. 93(4) pp.297-313

■ 共同研究・競争的資金等の研究課題

▶ 科研費（基盤研究B）分担「日本における持続可能な観光をもたらすシステムに関する地理学的研究」
2021年4月 - 2025年3月

▶ 科研費（若手研究）代表「国際観光客増加にともなう都市の変容-ツーリズムジェントリフィケーション-」
2020年4月 - 2024年3月

■ 講演・研究会など

▶ JR吹田駅周辺まちづくり講演会 2022年2月7日
「大学連携による商店街の活性化について」

▶ 金沢大学 地域政策研究センター 公開研究会 2020年2月3日

「ツーリズムジェントリフィケーション - 金沢市と京都市における 観光需要の増加に伴う都市の変容 -」



中心市街地の再生や観光関連の書籍も執筆（共著）

■ 社会貢献

2018年4月～ 東淀川区社会福祉協議会 大阪市生活支援体制整備事業 協議体 議長

2021年4月～ 日本都市計画学会 防災・復興問題研究特別委員会 第3部会：人為的災害

2021年4月～ 奈良県五條市市史編纂 地理環境専門部会員

2022年7月～ 大阪府吹田市 シティプロモーションアドバイザー会議 委員長

2023年6月～ 金沢大学 先端観光科学研究所 客員准教授

■ アピールポイント（職務スキル）

▶ (株)リクルート

広告制作ディレクターから億単位のプロジェクトマネージャーなど、魅力抽出とプロジェクトの推進が得意です。

▶ 某私立大学

産官学連携センター長として、地域連携、高大連携、社会貢献事業など地域との協働を推進しました。

▶ 現在

研究者として学生と共に地域に出向き、その成果を地域に還元していきたいと思い、2023年4月に転職しました。但馬地域でいろんな活動に取り組んでいきたいです。

講師 NOZU NAOKI
野津 直樹 nozu@stdat.at-hyogo.ac.jp



04

■ キーワード 観光情報、モビリティ、公共交通マーケティング、豊岡演劇祭

国内観光・インバウンド観光のデータ分析による観光資源の潜在需要の調査、観光客の公共交通を活用した地域内周遊を促進する情報整備手法の検討

■ 教育研究

担当科目：知と表現のデザイン、情報処理演習、ICT演習、観光交通論、芸術文化・観光プロジェクト実習

主要研究：野津直樹 (2016)「ビッグデータによる観光動態分析」、『人工知能』31(6)、pp.850-857

野津直樹 他 (2017)「交通ビッグデータを活用したまちづくり」、『新都市』71、pp.40-46

■ 地域貢献・社会貢献

2022年度～：豊岡高等学校「探究Ⅰ」地域課題研究講師

2022年度：八鹿高等学校 高大接続改革推進事業 出張講義講師

2022年度～：新温泉町 交通政策研究会アドバイザー

2022年度～：豊岡市 城崎温泉交通環境改善協議会出席

2022年度：兵庫県 新観光戦略推進会議専門委員

2021年度：兵庫県 新全県ビジョン検討委員会委員

2020年度～：豊岡演劇祭実行委員会 モビリティディレクター

2019年度～：公共交通マーケティング研究会 幹事



▲ 豊岡演劇祭2020におけるオンデマンド交通実証実験の様子 (コウノトリ但馬空港にて)



▲ RIC noslisu実証実験 (芸術文化観光専門職大学にて)



▲ 豊岡市内における電動キックボード実証実験 (城崎温泉にて)



▲ 公共交通マーケティング研究会の開催模様 (2019年8月、愛知県豊田市にて)

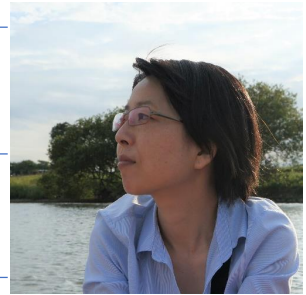
■ アピールポイント

【受賞】第12回観光情報学会全国大会(2015)、第13回観光情報学会全国大会(2016) 大会優秀賞

【資格】旅客自動車運送事業運行管理者、国内旅行業務取扱管理者、応用情報技術者、

専門統計調査士、社会調査士 他

TAKAHASHI KAORI
 助教 高橋 加織 kaori_takahashi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード ジェンダー研究、観光業における労働問題
 女性やマイノリティの職場環境及び生活環境の改善、インターンシップの構築
 及び支援

■ 教育研究

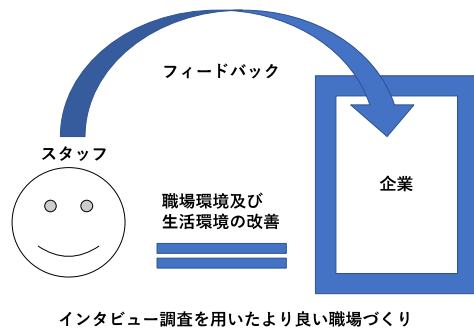
- ・担当科目：観光資源実習（1年）、宿泊産業論、宿泊業実習1・2、旅行業実習1、ホスピタリティ実習、海外実習A（2年）、旅行業実習2（3年）
- ・本学委嘱委員：入試委員、ハラスメント対策委員会委員
- ・研究：1. ジェンダー研究：職場環境の改善
 (1) 宿泊業における職場・生活環境の改善：インタビュー調査を行い、働く人たち（特に、女性、外国籍、障がい者など）の抱えている問題を明らかにすることで、職場の環境および生活環境の改善に貢献できる。宿泊業で働く人は、女性、外国籍の方、子育て中の方も多いため予想される。近隣の親類縁者などのサポートがなくても子育てと就労を両立し、生活しやすい環境の整備や支援をおこなう。
- 2. 観光研究：宿泊業支援、インターンシップの構築および支援
 (1) 宿泊業のイベントや講習会（小中学生向け、地域住民向けなど）を企画できる。
 (2) 国内外の企業や教育機関と宿泊業におけるインターンシップの提案。

・運営等の担当

観光業界を目指す若者向けセミナー（高校生対象）実施事業

・専門領域

事例1. インタビュー調査を用いた職場および生活環境の改善

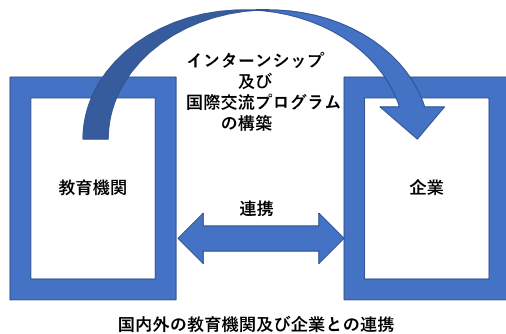


* インタビュー調査の結果を分析し、企業へフィードバックすることにより、職場環境及び生活環境を改善し、より良い職場づくりを目指します。



開学記念フォーラムMC

事例2. インターンシップの構築及び支援



* 国内外の教育機関及び企業の架け橋となるインターンシップ及び国際交流プログラムの構築を支援します。言語、文化、宗教、習慣などの異なる方々と交流することにより、企業、教育機関及び地域の多文化共生を実現します。

■ アピールポイント

ホテル業において国内外要人接遇を歴任。

NAKAMURA SATOSHI

助教 中村 敏 s-nakaamura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード ユニバーサルツーリズム、観光交通、観光まちづくり
都市経済政策、観光学、社会福祉学

■ 教育研究

- ・担当科目：芸術文化・観光プロジェクト実習 1、芸術文化・観光プロジェクト実習 2、
観光交通実習 1、観光交通実習 2、旅行事業実習 1、旅行事業実習 2
- ・本学委嘱委員：実習支援センター委員、エクステンションセンター委員

・専門領域

1. ユニバーサルツーリズムに係る研究

観光と福祉の現場において、知的障害、身体障害、精神障害などのハンディキャップを抱える方の移動支援の実践経験を積んできた経験や、観光系と福祉系資格の両方を持つ稀有な経歴を活かし、観光や福祉に携わる地域の関係者とともに、ユニバーサルツーリズムについて多角的に研究を進める。

2. 交通の観光資源化に係る研究

- ・観光派生需要と捉えてきた交通を、観光を目的とする交通として捉え、地域交通の活性化、沿線の地域社会に貢献する。
- ・但馬地域には、温泉、ジオパーク、歴史的遺産など、豊かな観光資源に恵まれる。しかし地域内の観光スポット間の移動が容易ではなく、観光需要が豊岡市と朝来市一部に集中していることから、鉄道や、基幹道路のネットワーク等を有効活用しながら、但馬地域の四季折々の観光魅力を有機的に結びつける滞在時間の演出を行う。

3. 観光資源としての博物館等公共施設に係る研究

- ・日本万国博記念公園その他公共的施設の管理とその運営に従事し、大規模コンサートや、アートプロジェクトなどの各種イベントや、博物館、美術館との企画展等でのコーディネーターとしての経験から、観光と芸術文化を架橋したプロジェクトを学生と共に創作する。



観光フィールド調査研究(諸寄地区)



ユニバーサルツーリズム実証評価



観光特急実証評価

■ 地域貢献・社会貢献

- ・ユニバーサルツーリズム推進アドバイザー（兵庫県）
- ・RIC PROJECT：但馬地域レイルウェイイノベーションを触発する利用者ニーズ調査研究事業（豊岡市）、城崎発演劇列車 JR西日本観光列車「うみやまむすび」×スイッチ総研『絶景！！日本海！山陰本線ローカル駅スイッチ』（豊岡市・香美町）、朝来市起業人材交流支援プロジェクト（朝来市）、諸寄地区における観光産業活性化事業（新温泉町）
- ・豊岡市立日本・モンゴル民族博物館における企画展への協力
- ・高校生を対象とした観光教育のアドバイザー（群馬県立中央中等教育学校）
- ・観光ボランティアガイドへのアドバイス（堺都市政策研究所市民研究員会議）

■ アピールポイント

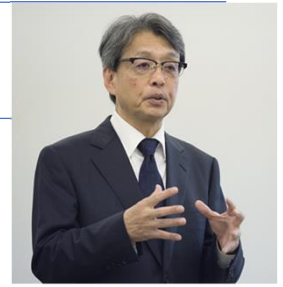
・研究者教員でありながら、観光と福祉に係る専門職人としての実務経験と資格を有していることから、多様な利害関係者の立場を理解し、協力を得ながら、フィジビリティが担保された具体的な施策の策定と実施についてサポートが可能。

（主な取得資格：介護福祉士、防災士、国内旅行業務取扱管理者、国内旅程管理主任者、行動援護従業者、同行援護従業者、ホスピタリティ・コーディネータ、サービス介助士）



佐藤	善信	-----	40
山中	俊之	-----	41
瓶内	栄作	-----	42
千賀	喜史	-----	43
中村	嘉雄	-----	44
小島	寛大	-----	45
辻村	謙一	-----	46

SATO YOSHINOBU
教授 佐藤 善信



■ キーワード

マーケティング戦略、経営戦略、アントレプレナーシ、地域創生戦略、CSVビジネスモデル、マネジメント・コンサルテーション、経営者育成・経営幹部・後継者教育

■ 教育研究

○担当科目：マネジメント入門（1年生対象）、事業創造入門、エリアマネジメント論、アントレプレナーシップ論（2年生対象）、地域イノベーション論、ブランド論、専門演習（3年生対象）、総合演習（4年生対象）

○研究：科研費「コロナ禍での即時的マーケティング対応によるイノベーション創出メカニズムの解明（3年間）」（2021年度 基盤研究(C)：課題番号21K01756）

○共著

『SDGsの経営学』千倉書房，2022年8月。

『同族企業の5代目社長が挑む企業風土改革』幻冬舎，2022年11月。

○論文

・「わが国におけるソース業界の競争構造分析：Kotler, Porter, Miles=Snowの3つの分析フレームワークの有効性の検証」（共著）『ビジネス&アカウンティング・レビュー』27号，pp. 29-47。

・「成功者の『根拠のない自信』：成功におけるその役割と性格」（共著）『ビジネス&アカウンティング・レビュー』27号，pp. 49-68。

・「『アルバムセラピー』のセラピーとしての特徴：夢ふおと創業者、林さゆりの想い」（共著）『ビジネス&アカウンティング・レビュー』28号，pp. 61-78。

○学会プロシーディングス

・「オタフクソースの海外事業展開のケーススタディ・リサーチ」日本商業学会第72回全国研究大会，5月29日。

・「ポストコロナ時代における日本の伝統文化産業のグローバル化——茶の湯を中心として」（共著）同上。

・「新時代における ブランドコミュニティとしての茶の湯」（共著）日本マーケティング学会カンファレンス2022，11月。

・「豊岡市神鍋地域における 内発的地域イノベーション・エコシステム — 株式会社 Teamsのケーススタディ」（共著）同上。

・「価値共創マーケティングの新展開：Adam GrantのGive & Take 理論とカラータイプ理論からのアプローチ」（共著）同上。

○専門分野：マーケティング、経営戦略、組織行動、最近の関心領域はブランド・オーセンティシティ、ラグジュアリー化のためのビジネスモデル変革



■ 地域貢献

・RICプロジェクト、2023年度、3件担当

■ アピールポイント

CSVビジネスモデル（本業を通じて社会的な課題の解決に貢献する）を中心に2社の経営アドバイザーを務めています。また、ボランティアで企業にCSVビジネスモデル導入のコンサルテーションも行っています。

YAMANAKA TOSHIYUKI
 教授 山中 俊之 toshi.yamanaka@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 国際教養、リーダーシップ
 グローバル情勢理解、グローバルビジネス支援、地域創生支援、行政支援

■教育研究

- ・担当科目：世界を知る（1年）、リーダーシップ論（2年）、創造性開発演習・マネジメントキャリア英語・専門演習（3年予定）、総合演習（4年予定）
- ・研究：著作 …世界の民族超入門

・国際交流プロデュース
 CAT国際交流センター長：ソウル芸術大学との連携協定締結と平田学長記念講演、台湾3大学（建国科技大学、修平科技大学、領東科技大学）との連携協定締結

・専門領域

1. グローバル情勢理解
 - ・現在の国際情勢についてSDG s や移民問題、テクノロジーなどの論点と連動させて、講演・ワークショップを行うこと。
 - ・世界の歴史、宗教、芸術文化、哲学について講演・ワークショップすること。
 - ・英語等外国語習得の意義について講演・ワークショップすること。
2. グローバルビジネス支援、グローバルリーダーシップ支援
 - ・経営者、リーダー向けに、現在の国際情勢とビジネスの関係について講演・ワークショップすること。
 - ・世界や日本のあるべき方向について、事業者などが参加する会合でファシリテーションすること。
 - ・海外進出を目指す企業において、海外出張や赴任者を研修やコーチングを通じて育成すること。
3. 地域創生支援
 - ・地域創生について、住民、行政、事業者などが参加する会合でファシリテーションすること。
 - ・観光振興について、世界各地の文化や歴史文化を基にアイデアを出すファシリテーションすること。
 - ・外国人の居住者や観光客への生活支援。
4. 行政支援
 - ・行政機関の人材開発のあり方についてアドバイス。

■地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：鉾石の道活用促進プロジェクト（朝来市）、朝来市職員人材育成事業（朝来市）、学生による香美町フィールドワーク事業（香美町）、新温泉町講師派遣支援事業（新温泉町）

■アピールポイント

- ・関連講演や研修を過去18年間にわたり経験。ビジネスパーソンを含め累計4万人以上に研修実施。
- ・世界96か国を訪問して、現地の情勢を徹底的に視察。イナモリフェローに選抜され、米国シンクタンクCSISにて、グローバルリーダーシップについて研鑽を積む。
- ・英語での講演、ワークショップ可能。
- ・歴史文化、宗教、世界情勢の理解、公務員人事等に関する書籍の出版。
- ・全国の自治体職員3,000人以上にインタビュー。医療福祉、教育現場など自治体の現場を多数訪問。大阪市特別顧問をはじめ多くの行政機関で専門家委員を務める。

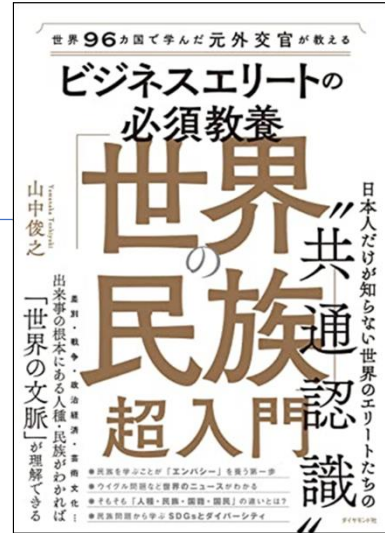


図1 山中俊之著「世界の民族」超入門 2022/02/ ダイヤモンド社



図2 RIC プロジェクト（新温泉町）の講演

講師 KAMEUCHI EISAKU
 瓶内 栄作 e-kameuchi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 中小企業、事業承継、経営革新、第二創業
 経営診断（中小企業診断士）

05

■ 教育研究

- ・担当科目：事業創造入門、地域創生実習（2年）、地域イノベーション実習（3年）、地域連携実習（4年予定）
- ・研究：（2022）「ポストコロナにおける地方映画館存立方法についての予備調査報告」
 芸術文化観光学研究,1号,pp.122-130.
 （2021）「地場産地における事業承継の現状についての考察」大阪経済大学 経営経済,57号,pp.37-50.

・学術情報委員会委員、キャリアサポートセンター委員

・専門領域

1. 事業承継

親族承継時における、後継者のキャリアを活用した第二創業の実現
 公的支援機関でのアドバイザー経験を生かした個社に対する助言
 環境変化に対応した、複数選択肢の事業承継計画の策定

2. 中小企業経営、中小企業診断・支援

経営革新等支援機関の経験を生かした、事業計画の策定
 中小企業政策の変遷と、政策が対象とする企業類型に対する研究

3. 新規事業創出

既存経営資源を活用した第二創業の実現、事業再構築の方策検討



図1 2023.4.16 本学学術情報館
 パフォーミングライブラリ
 「出石そば発展の歴史をさぐる
 ～そば庄の一次資料から～」



図2 2023.3.23
 但馬県民局、但馬銀行共催
 スタートアップ・ビジネススクエア2023

ひょうごプラチナ成長企業への
 ステップ

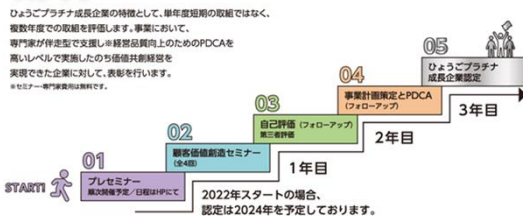


図3 ひょうご産業活性化センター ひょうごプラチナ成長企業創出事業
 プラチナ・アドバイザー（主任講師、支援専門家）

■ 地域貢献・社会貢献

兵庫県中小企業家同友会 NT委員（景況調査レポート）、ひょうご講座（ひょうご震災記念21世紀研究機構）講師
 全国市町村自治研修所「自治体の中小企業支援」講師、本学 リカレント教育『但馬ストーク・アカデミー』講師
 但馬銀行と本学の共同事業「但馬地域における事業承継に関する実態調査」アドバイザー

■ アピールポイント

日本中小企業学会 幹事、（一社）兵庫県中小企業診断士協会常任理事・会員研修委員長、
 兵庫県中小企業団体中央会シニア・コーディネーター、（一社）豊岡コミュニティシネマ監事

講師 SENGA YOSHIFUMI
千賀 喜史 senga@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 企業の社会的責任、社会的責任投資、重要業績指標
Key Performance Indicator、SDGs、ESG、サステナビリティ経営

■ 教育研究

・担当科目：事業創造論（2年）、知と表現のデザイン（1年教養ゼミ）、
組織マネジメント論（3年）、リスクマネジメント論（3年）
地域イノベーション実習（3年）

・研究：著作 …「 ESG活動におけるKPIと管理システムの効果的な組
み合わせに関する研究 」(図1)等、他論文11編

・ 専門領域

茨城県生まれ。立命館大学卒業後、会社員を継続しながら神戸大学
MBAにて修士（専門職）を取得後、神戸大学大学院経営学研究科博
士課程に進学し博士号（経営学）を取得。

新卒から自動車部品メーカーに入社し10年間営業に従事。その後、ス
ポーツ用品メーカーにて企業の社会的責任(CSR)の推進、広報宣伝部
にてプロモーション業務、事業企画課にてスポーツ用品・スポーツプログラ
ムのマーケティング業務に従事。2018年9月より公立短期大学にて経営学、経
済学、ビジネス実務の講師として経験を積み、実務家教員として芸術文化
観光専門職大学へ入職。教育職と並行して多数のサステナビリティ推進やP
R業務のコンサルティング業務を兼任。



図1 vol.42 第6回 碩学舎賞 一席受賞作
「 ESG活動におけるKPIと管理システムの効果
的な組み合わせに関する研究 -先進企業の
事例研究- 」

具体的な内容

- 1.企業の環境、社会、ガバナンスを中心とした重要業績指標（KPI）の研究
企業の定量指標であるKPIを対象に、指標の研究と効果的なマネジメントに必要な要因に関する研究。
- 2.サステナビリティ活動導入に向けたコンサルティング業務
導入を検討される企業に対して、実務経験を通じた現実的な導入に向けたマネジメント支援等。
- 3.ESG活動を中心とした指標の策定とマネジメント支援
環境、社会、ガバナンスを中心とした目標設定と、効果的なマネジメントサイクルを回す組織体制の設立の支援等。
- 4.広報・PR支援
広報宣伝部でのPR業務、CSRの推進業務での経験を通じたPR全般の支援、統合報告書作成支援等。

■ 地域貢献・社会貢献

- ・令和元年度おおいだ産学官交流合同シンポジウム（研究発表）
- ・令和2年度広報人材育成研修事業審査委員、令和3年度広報人材育成研修事業審査委員
- ・企業コラボレーションによる製品プロデュース活動多数
- ・令和4年 社会人を対象としたリカレント教育 田島ストーク・アカデミー講師 担当『経営戦略』
- ・令和4年 兵庫県中小企業団体中央会主催「SDGsでつかむ！従業員のやる気とチャンス」ゲスト講師

■ アピールポイント「実務と理論に虹色の橋をかける」

- ・10年の営業経験を基本とした現場を巻き込むサステナビリティ活動の支援（顧客は東証一部上場企業様等）。
- ・2度の学術賞を授与（第6回碩学舎賞第一席、環境経営学会平成30年度研究報告大会萌芽研究会 優秀賞）。
- ・科学研究費助成事業2022年度若手研究を採択。創発型のCSR活動を支援するKPIマネジメントの解明
- ・CSRやESGを中心とした社員のモチベーションアップに向けた施策策定や講演が可能。
- ・個人ホームページ <https://senga-lab-net.jimdosite.com/>



個人ホームページQRコード

NAKAMURA YOSHIO

助教 中村 嘉雄 y-nakamura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 中小企業論、地域産業論、観光交通

中小企業の存立、事業承継・第二創業の推進、商工会・商工会議所等と連携した創業・起業の推進、地場産業の振興、公共交通と観光

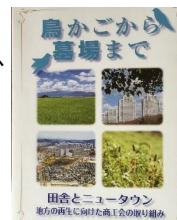
■ 教育研究

05

(1) 担当科目：地域イノベーション実習、地域連携実習、創造性開発演習、観光交通業実習、DESTINATION実習

(2) 研究：地方の中小企業存立のための事業承継・第二創業、後継者不在企業と学生のマッチング
 地場産業振興策として、企業のビジネスプラン策定、新技術・新製品開発、市場浸透
 観光振興策として、公共交通を活用した観光、観光コンテンツ開発、特産品開発

(3) 著書・論文：「鳥かごから墓場まで」、「地域中小企業における海外展開の支援」など



鳥かごから墓場まで



地域中小企業における海外展開の支援

■ 専門領域

(1) 事業承継

少子・高齢化で後継者不在の企業が増えてきている。こうした中、事業承継を円滑に進めるための支援、後継者不在企業への学生や地域おこし協力隊等のマッチング支援、地域密着型M&Aの推進

(2) 起業・創業

人口減少で地方が衰退する中、中小企業の数も年々減少している。こうした中、特に地方での起業や創業を後押しするための支援を行うことにより、地域の雇用を創出する。(R3~4年度 香美町など)

(3) 地方創生

地域を活性化させるため、関係人口を増やす取り組みを行う。具体的には、移住・定住を促進するため、地域住民の受け入れ態勢を進める意識啓発活動を行う。(R3~4年度 朝来市など)

(4) 地場産業の振興

地場産業振興策として、中小企業の持続的発展に向けた経営支援を行うと共に販路開拓支援を行うことにより、新市場の開拓・浸透を可能とする。また、新製品・新サービス開発に向けた産学連携を行う。

(5) 観光振興

地域の着地型観光を推進するため、それぞれの地域の歴史・伝統・文化を掘り起こし、観光コンテンツを開発することにより、日本の古き良きふるさとを知ってもらい、インバウンド観光客に体験してもらう。

<事例1> 産学連携による調査、地域資源活用等 <事例2> 起業、事業承継の相談、各種セミナー等

<事例3> 特産品開発及び販路開拓支援等



産学連携調印式



地域資源発掘調査



香美町報告会



大学講義



特産品開発及び販路開拓支援等

■ アピールポイント

地域の核となる中小企業が持続的に発展することは、雇用の確保・維持にも繋がり、人口減少社会における少子・高齢化で過疎化が進む地域経済の活性化・中小企業の持続的発展に貢献したいと考えている。

また、新型コロナウイルスの影響により、テレワークや遠隔会議が進む中、都市部で企業経営する必要が薄れており、地方で創業（起業）するマインドが高まっており、地方創生に繋がる動きを後押ししたいと考えている。

KOJIMA HIROTOMO

助教 小島 寛大

kojima@stdat.at-hyogo.ac.jp



05

■キーワード 子どもの文化体験と芸術教育、文化政策、文化経営、アートマネジメント、ソーシャルビジネス、社会的インパクト

■教育研究・専門領域

・担当科目：地域創生実習、地域イノベーション実習、地域連携実習

・研究

① 子どもの芸術・文化活動への参加の仕組みづくりと社会的インパクト

音楽、演劇、ダンスなど地域で子どもたちが文化的活動に参加できる仕組みの構築・運営と事業による子ども、保護者の変化や地域への影響の評価、可視化の手法の研究。

② 文化施設や芸術団体の経営、文化事業の評価

非営利文化組織・団体やアートプロジェクトの事業評価の手法。

③ 学校と地域の音楽教育の歴史、学校教育と楽器産業の関わり

世界有数の日本の楽器メーカーの発展・成長と音楽教育の関わり。教育楽器や音楽教育サービスの開発と発展の歴史と音楽文化への影響。

■地域貢献・社会貢献など



京都市「文化芸術授業
(ようこそアーティスト)」
コーディネーター (2021年～)



京都市文化芸術総合相談窓口
THE KYOTO-CITY ARTS AND CULTURE COUNSELING OFFICE

京都市文化芸術総合相談窓口
相談員 (2022年～)

移動おんがく実験室
スタジオ☆ムジカ!

移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ!
企画・主宰 (2021年～)

■アピールポイント

楽器メーカー勤務を経て、国際舞台芸術祭や公立のアートセンターや劇場にスタッフとして勤務し、演劇やダンスの現場で企画・制作の経験を積んできました。また、7年ほど小中学校や幼稚園・保育園、養護施設など子どもたちの生活の場にアートワークショップを提供する事業のコーディネーターを務め、その経験から子どもたちの文化的体験のための場所と仕組みを作ることがライフワークになりました。大学院ではアートマネジメントと経済学の2つを学びました。様々な現場で一緒に汗を流して新しい挑戦をしながら、少し先のことや金、組織などマネジメントのことも一緒に考え現場に伴走できる研究者を目指しています。

助手 TSUJIMURA KENICHI
辻村 謙一 tsujimura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード

マーケティング（地域貢献・地域資源活用・非営利活動等）
人的ネットワークによる地域資源や人的資源の発掘、ソフト・コンテンツの活用および導入 等

■ 教育研究

- ・担当科目：観光資源実習、宿泊業実習、地域創生実習、地域イノベーション実習、地域連携実習
- ・研究：著書…「響創する日本型マーケティング」第11章『芸術文化観光専門職大学における臨地実務実習の展開——PALAR視点からのリフレクション』執筆
- ・本学の運営等の担当：実習支援センター委員、エクステンションセンター委員、安全衛生委員会委員

■ 専門領域

- ・『豊岡市神鍋地域における内発的地域イノベーション・エコシステム — 株式会社Teamsのケーススタディ —』共同執筆（日本マーケティング学会カンファレンス2022, 10月16日）
- ・北近畿地域連携機構市民リエゾンユニット主催「2022年度第1回北近畿高大公連携フューチャーセッション」にて事例発表（2022年11月18日）
- ・福知山公立大学2022地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」審査員（2022年12月11日）
- ・豊岡市商工会青年部日高支部主催セミナー講師「ロマンチストから学ぶ地域活性化企画の極意」（2022年12月14日）
- ・関西学院大学専門職大学院 非常勤講師
- ・福井県立大学大学院 非常勤講師



響創する日本型マーケティング2022/03/関西学院大学出版会

■ 地域貢献・社会貢献

- ・T-Discoveryプログラム『未来からの挑戦状』講師（兵庫県立豊岡高等学校）
- ・起業促進に向けたKOUBAの活用（朝来市）
- ・あさご芸術の森美術館イベント支援業務（朝来市）
- ・観光業界を目指す若者向けセミナー（高校生対象）実施事業（公益社団法人ひょうご観光本部）
- ・諸寄地区における観光産業活性化事業（新温泉町）
- ・令和4年度グリーン但馬10万人大作戦 6月5日（竹野振興局）
- ・香住ビーチクリーン 10月15日（香住JC）
- ・与謝野町総合計画審議会委員



2022/12/14
江原河畔劇場にて実施

■ アピールポイント

- 家業の1920年創立のファッション専門学校を承継するも2019年3月を以て法人解散。その後清算人として法人解散手続きを行い（2022年3月完了）、2021年4月より本学に就任。学校の閉校と開学を継続して経験する。
- 2002年3月に行った、阪神・淡路マルチメディア産業交流会による豊岡市の視察訪問を契機として、豊岡市の方々との交流が始まった。2008年にはCIBER (Center for International Business Education and Research) が展開している共同課外授業“Global Business Project (GBP)” の日本での第一回目として、豊岡市宵田商店街（カバンストリート）をフィールドとして行う研究活動に関与した。特に豊岡市が日本に、そして世界に誇る鞆関連の活動関連に興味を持ち、継続的に訪問を繰り返して現在に至っている。
- 宵田商店街—カバンストリートとしての復活— 2011/9 共同執筆
- カバスト春祭り（豊岡カバンストリート&但馬future forum実行委員会主催） 審査委員 2010/3/21
- 一般社団法人日本ロマンチスト協会と日本財団が共同で実施している『恋する灯台プロジェクト』において、『恋する灯台』に選ばれた余部埼灯台（兵庫県美方郡香美町）が立地している兵庫県香美町を「恋する灯台のまち」として認定し、平成28年11月4日に日本ロマンチスト協会兵庫県支部長として町長を表敬訪問 等

◆ お問い合わせ・産学連携申し込み

芸術文化観光専門職大学

・地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）・地域協働課

所在地

〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町7-52

電話

0796-34-8123（代表）、34-8162（RICダイヤルイン）

ウェブサイト

<https://www.at-hyogo.jp/>

E mail

cat-hyogo@ofc.u-hyogo.ac.jp

発行責任者 川目 俊哉

担 当 幸木 孝雄

発行日 2023年6月1日



芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism